

# 現代教育実践文庫

全38巻＋別巻2

活用のおてびき(総索引)

太郎次郎社

# 目次(巻名一覧)

活用案内	2
内容別索引	4
1 教育とはなにか、学力とはなにか	4
2 学歴社会と教育のゆくえ	4
3 入学試験と内申書	5
4 テストと評価	6
5 原点としての障害児教育	6
6 障害者の自立と教育	7
7 授業を創るとはなにか	7
8 読み方の授業、詩の授業	8
9 かな文字、作文、読みきかせ	8
10 漢字の学び方・教え方	9
11 算数の急所、その教え方	10
12 遊びながらの算数	10
13 たのしい算数・数学の授業	11
14 たのしい科学の授業Ⅰ	11
15 たのしい科学の授業Ⅱ	12
16 社会科の授業・現代社会と人間	12
17 社会科の授業・自然と人間	13
18 ものづくりの授業、家庭科の授業	13
19 音楽の授業、美術の授業	14
20 だれでもできる体育の授業	14
21 日本人にとっての英語教育	15
22 戦争を教える	16
23 子どもからだと公書の授業	16
24 教育にとって教科書とは	17
25 教師の生き方、教員養成	18
26 父は学校に何を期待するか	18
27 お田さんの教育実践	19
28 親の生き方、子の育て方	20
29 幼児教育、遊び・マンガ	20
30 手づくり絵本、手づくり遊び	21
31 学級通信と学級づくり	22
32 学校づくり、行事づくり	22
33 自立する若者たち	23
34 若者たちの生活と意見	23
35 子どもの自殺・非行	24
36 登校拒否・校内暴力	24
37 子どもの人権と管理	25
38 ドキュメント・人間と教育	26
別巻・遠山啓、その人と仕事	26
別巻・競争心から好奇心へ	28
著者別索引	29

# 活用案内

ここに、

38巻は、大きく3つに分かれ、さらに10のブロックに分かれている

## ★教育の根本をさぐる総論編…1～6巻

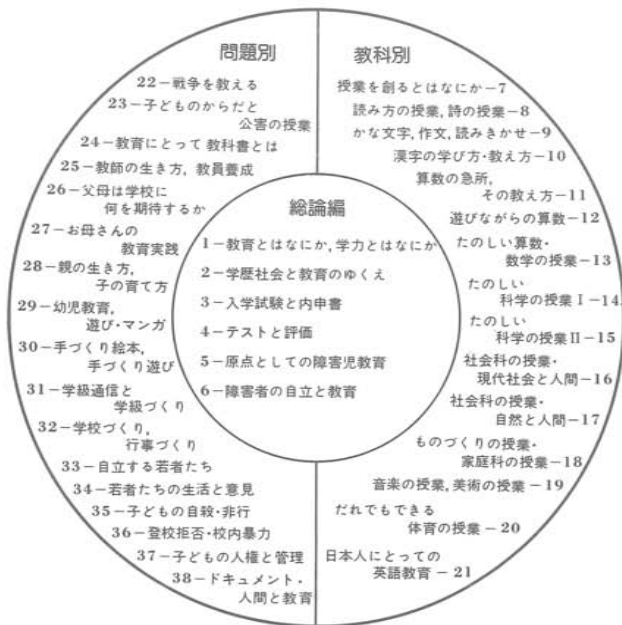
- 1-教育の原点としての学力問題(1～4巻)
- 1-障害児教育に「教育の原型」をもとめる(5～6巻)

## ★だれでも、どの教室でも、すぐに役立つ教科別…7～21巻

- 1-授業実践こそ問題解決の焦点(7～21巻)
- 1-戦争・公害の授業、教科書問題(22～25巻)
- 1-父母たちの教育参加一期待・批判・実践(26～28巻)
- 1-子ども、遊び、マンガ、手づくり絵本(29～30巻)
- 1-子どもを主人公にした行事・学級・学校(31～32巻)
- 1-若者たちは苦悩から自立へ、その実践(33～34巻)
- 1-少年たちの荒れる原因、それとの格闘(35～37巻)
- 1-事実のなかに問題解決のカギをさぐる(38巻)

## ★もつとも今日的な教育の悩みに応える問題別…22～38巻

- 1-戦争・公害の授業、教科書問題(22～25巻)
- 1-父母たちの教育参加一期待・批判・実践(26～28巻)
- 1-子ども、遊び、マンガ、手づくり絵本(29～30巻)
- 1-子どもを主人公にした行事・学級・学校(31～32巻)
- 1-若者たちは苦悩から自立へ、その実践(33～34巻)
- 1-少年たちの荒れる原因、それとの格闘(35～37巻)
- 1-事実のなかに問題解決のカギをさぐる(38巻)



本文、ページ  
よこの文章は、  
遠山啓語録  
—遠山啓著作集から

# あなたの悩みのすべての答えがある……—活用案内

●一読者のかたから寄せられた悩みや問いのなかから九例をとりあげて、それに答えるおもな原稿をあげました。「」はタイトル名、○な数字は巻数、文中の「」は巻名です。

\* \* \*

●問い—分数のたし算で、子どもは分母と分子をそのまましてしまいが……

→「分数と、そのたし算・ひき算」⑪、「量の分数、とその周辺」折紙の分数「ドミノゲーム」⑫、「算数の手づくり絵本— $\frac{1}{2} + \frac{1}{3} = ?$ 」⑬……急所さえ押えれば、算数はだれにでもわかる教科です。「算数の急所」⑭はみんなを算数ずきにする「量と水道方式、の実践的解説。その急所を楽しく学ぶ「ゲームによる授業」や「ゲームの算数」は「12—遊びながらの算数」に。すぐにマネして実践できます。

●問い—子どもが漢字がらいで困ってしまいう。もっと楽しく教えられないか……

→「みんなが好きになる漢字の授業」「はじめての漢字指導をどうするか」「型分けによる筆順の指導」⑩……マル暗記でなく、漢字のなりたちや性格にそくして系統だて、ゲームにして教える新しい授業。子どもたちがワクワクしながら漢字を学びます。絵や歌あそびをしながら教える「かな文字の授業」は「9—かな文字、作文、読みかせ」にのっています。

●問い—小学校低学年に社会科の時間があるけれど、なにを教えたらいいのか……

→「一粒から千粒へ—米の話」「たのしくわかる地図の授業」⑬位置をとらえる／⑭目で見、手づくり、足で体験する」⑮、「えんぴつができるまで—どれだけの人手が必要か」⑯、「こんにやくづくり」⑰……お店屋さんも、工場の人も、職人さんも、みんな先生。教室をと

びだし、地域の人に学ぶ授業実践もあります。

●問い—子どもが泳げない。とび箱もとべない。私もできない。どうしよう……

→「だれでも泳げるドル平泳法」「全員、とび箱がとべた—開脚とび、閉脚とびの授業」⑱……「20—だれでもできる体育の授業」には、体操、マット運動、鉄棒、マッスゲーム、ソーラン節などの授業記録も。体育がらいな人でも、自分もできて、すべての子にそれらを身につけさせられます。民舞の授業には、踊り方のいいねいな解説もあって、だれでも、すぐに授業にかけられます。

●一公害を教えたい。それを授業にするには、なにを？ どうやって？……

→「みかけじゃないよ、中身だよ—ファンタの授業」「スカッとさわやか、命ちぢめます—ココロラの授業」「食べものとうんこの授業」⑳……ジュースで毛糸が染まる。その実験が添加物の恐ろしさを衝撃的に伝える授業です。「23—子どものからだと公害の授業」は、「子どもを襲う現代病」「子どものからだの異常信号」「子ども本位の学校給食を」など、食生活をどう考え、どう教えるかに答えてくれます。

●問い—子どもたちに戦争を教えたい。でも、戦争体験がない。どんな授業を……

→「アウシュビッツ」「はだしのゲン。の上演」「原爆。の創作劇」「ヒロシマへの修学旅行」㉑、「みんなの心に咲いた—一つの花。」「川とノリオ。を読む」㉒……これなら、戦無派の人でも授業ができます。「22—戦争を教える」には、「いま、戦争を学ぶことの意味」や戦争体験記、沖縄戦の記録も。社会科だけでなく、国語のなかで文学をとおして教えた記録もたくさんあります。

●問い—ものづくりの授業は子どもたちが生き生きするといわれるけれど……

→「わりばしペンから弓矢づくりまで」「一枚の布を着る」「みそを作る」「とうふづくり」「虫かごづくり」「織り機をつくって、布を織る」「草木染め、毛布づくり」「パンの授業」⑲、「手づくり絵本」「手づくりおもちゃ（45種類）」㉓……いろいろな実践があります。子どもがわきたつ授業を手にいれられます。

●問い—子どもが学校にこなくなった。どうしたらいいだろう。なぜだろう……

→「学校をこぼんだらとともに」「生徒に登校拒否されて」「登校拒否の生徒とともに」㉔、「ともに登校拒否をのりこえて」㉕……「いじめつ子、いじめられつ子」問題は「36—登校拒否・校内暴力」に。「心のとびらがひらかれるとき」「ケンちゃんの成長記録」など自閉症児との取り組みは「6—障害者の自立と教育」に。具体的な実践例によって、心を閉じる原因と、その対応のしかたが明らかになります。

●問い—父母とうまくつきあえない。ホンネがわからない。父母と手を結ぶには……

→「先生にやってほしくない「急所。」」「親と教師は手がつなげる」「ホンネを言って結びつく」㉖、「親・子ども・教師のカキネを超えて」「学級通信は母親の宝もの」㉗……疑心暗鬼になりがちな教師と父母、ここには、おたがいの疑問や批判、希望を率直にだしあい、手を結びあったたくさん事例が紹介されています。

\* \* \*

●—これらの例とおなじように、この文庫は、すべての悩みに対して、かならず答えてくれます。なお、総論編をあわせ読むと、その背景がくつきりと浮かびあがってきます。

# 内容索引

(総目次)

●——約300編の授業、  
計1200編の記録が、  
現代の教育問題の  
解決にせまる

## ●——内容索引の使い方

この文庫の巻構成は教科別・テーマ別のうへ、各巻が章わけされているので、この内容別索引は全巻の総目次です。

各原稿の性格を、授業記録および授業に役だつ記録(◆)、実践記録(◇)、ルポ(◀)、そのほか(無印)に分類した。ま

た、内容を幼児教育(㊟)、小学校(㊤)、中学校(㊦)、高校(㊧)、父母(㊨)、学生・若者(㊩)、そのほか(無印)にわけて示した。

例…「○○○○」伊東信夫◆㊟  
伊東信夫が幼児教育について書いた授業記録。

## I 教育とはなにか; 学力とはなにか

### I-1 人間とはなにか, 教育とはなにか

人間と教育	遠山啓
スパルタ教育	遠山啓
「過保護」ということば	遠山啓
無知の自覚	遠山啓
子どもの夢を破壊するもの	遠山啓
水と水	遠山啓

### II-1 序列主義教育への問い

夢みる動物	遠山啓
内申書をなくそう—教師の仕事	遠山啓
点は金なり	遠山啓
単線か複線か	遠山啓
身がわり出世主義	遠山啓
共通一次試験によいとところがあるか	遠山啓

上と下からの序列化—共通一次と養護学校義務化	遠山啓
生涯、受験生	遠山啓
「ゆとり」とは「自信」である	遠山啓

### III-1 自立のために学ぶ

マジメとはなにか	遠山啓
----------	-----

なまいきのすすめ	遠山啓
いなおりのすすめ	遠山啓
ひとりで走れ	遠山啓
親の定年、子の定年—元服のすすめ	遠山啓

自立をはばむ学校	遠山啓
おどかし産業	遠山啓
自立のために学ぶ	遠山啓

### IV-1 ほんとうの学力とはなにか

点数のない教育とは—教師の実践が問われている	遠藤豊
(座) ボクたちにとっての点数のない教育	糸山立一+菅哲+服部勝彦+原田実基夫+増田美徳+松岡裕美+木幡寛+依田節夫
ほんとうの学力とはなにか	遠藤豊
“できる”ことと“わかる”こと	松井幹夫◆㊟

### V-1 競争原理を超えるには

いのちのやさしさ—競争原理への問い	高史明
能力主義を超えて	野呂重雄
いまこそ、教育のコペルニクスの転換を	伊藤隆二
解説	大田堯

## 2 学歴社会と教育のゆくえ

### I-1 学歴社会と教育のゆくえ

知ることの意味	遠山啓
アンケート—学歴社会と教育のゆくえ	安野光雅+扇谷正造+大岡信+大田堯+高史明+長谷川四郎+日高六郎+榎枝元文+公明党+自由民主党+日本共産党+日本社会党+民社党
幻のゴールをめざして—学歴社会の過去と未来	遠谷昌志
日本をダメにする序列主義	遠山啓

### II-1 学歴社会の虚像と実像 1

(座) 社会部記者の眼からみた教育(1)	遠藤豊吉+佐田智子+東宮哲哉+渋沢重和+遠山啓+斎藤茂男+横川和夫
(座) 社会部記者の眼からみた教育(2)	遠藤豊吉+佐田智子+東宮哲哉+渋沢重和+遠山啓+斎藤茂男+横川和夫
(座) 社会部記者の眼からみた教育(3)	遠藤豊吉+佐田智子+東宮哲哉+渋沢重和+遠山啓+斎藤茂男+横川和夫
何が子どもの心を蝕むのか—「いま学校で」9年間の取材から	佐田智子

(座) 有名校生事件の背景—なにが彼らをこ  
うさせたのか

佐田智子+横川和夫+遠山啓+尾崎盛光  
+原田智恵子+須永和久+長谷川立子+  
加藤学

国鉄に東大ばなれはおこったか 荻野祥三◀

### III—学歴社会の虚像と実像 2

学歴社会と入学試験 遠山啓  
名門校製造法 遠山啓  
学歴社会の先兵はだれか—浦和の“越境通  
学”をささえてきたもの 宮沢望 ⊕  
「学習塾」、オマエはなにものだ 遠藤豊吉  
エリートたちの“身の下相談” 白井将文

### IV—学歴社会を超えるこころみ

学びたい者が学ぶ—遠友夜学校の話  
武田文也◀  
今村昌平の映画学校 今村昌平  
学びつつ創る市民の学校—鎌倉市民アカデ  
ミアからの報告 小尾芳枝  
21世紀の大学—明星自由大学のこころみ  
尾形憲

学歴不問、学力テストなし—テレビマン・  
ユニオンの入社試験 村木良彦+今野勉

### V—新しい教育像を求めて

対談—学歴社会を超える新しい教育像  
永井道雄+遠山啓 司会・斎藤茂男  
シンポジウム—'80年代の教育を考える  
遠藤豊+小尾芳枝+佐田智子+土師政雄  
+森毅  
対談—「公」から「私」へ—80年代を教師  
と親はどう生きるか 鶴見俊輔+森毅

解説

森毅

## 3 入学試験と内申書

### I—入学試験、この現実をどうするか

(座) 入学試験—この現実をどうするか  
遠山啓+森毅+増島高敏+土師政雄  
受験体制の誤り—ある女子高校生の発言  
日教組・第24次教育研究全国集会のレ  
ポートから ⊕  
わが心とのたたかい—むすこの受験生活と  
かかわって 成瀬邦子 ⊕  
入学試験って、なんや?—娘の大学入試を  
めぐって 糸井治子 ⊕  
入試に合格させる家庭の条件 尾崎盛光  
就職試験とはなにか—商業高校の実際  
手塚ひろし ⊕  
むすこの高校入試を体験して 川瀬よし子 ⊕  
大学入試を廃止せよ 小寺平治

### II—内申書・指導要録の実態をさぐる

内申書と指導要録の実際 村田直文 ⊕  
先生、内申書は、どうやって決めるん  
ですか 辻裕 ⊕  
内申書とはなんだろう 清水みちこ ⊕  
通知票と指導要録への疑問 嶋中アキ  
現代「人買い」考—偏差値・内申書・単願  
をめぐって 本郷三郎 ◀

### III—底あげ内申書事件と内申書裁判

底あげ内申書事件—揺れる「神奈川方式」  
金子秀敏◀⊕

序列主義の煉獄—8年目の神奈川方式  
金子秀敏◀⊕

<底あげ内申書>事件、その1年後  
金子秀敏◀⊕

ゆれる「神奈川方式」—母親・教師の意見  
見城次子 ⊕

内申書裁判判決の二つの側面—「表現の自  
由」と内申書制度の肯定 田中良太◀⊕

内申書問題と私のこころの歩み 小尾芳枝 ⊕

内申書裁判を見守りつづけて 小尾芳枝 ⊕

### IV—共通一次試験を批判する —施行前と施行後

共通一次試験が生まれるまで 原田三朗  
共通一次試験のプラスとマイナス

土師政雄  
共通一次試験と手をにぎる受験産業

田中良太  
共通一次試験は成功だったのか—データ乱

用の危険性もある 田中良太  
共通一次によいところはない 土師政雄

もうやめよう、共通一次 土師政雄

### V—学校格差をつくらないために

(座) 学校格差をつくらない京都の小学区制  
遠山啓+池上順子+小山一子+佐々木元

禧+鈴木集蔵+中原克巳+森毅  
廃止される総合選抜制—千葉県  
の学校群を

めぐって 亀松吉昭 ⊕  
息子の受験をととして—千葉県  
の学校群を

めぐって 清水みちこ ⊕  
有名都立高校の復活をねらう—都立  
高校入

試制度の改悪 樺忠男 ⊕  
地元の高校へ行こう!—学校格差をなくす

地元集中運動とほく 本多牧生 ㊦  
 バイパスのすすめ—高校を飛び越え、検定  
 試験で大学進学 土師政雄  
 解説 大田堯

## 4 テストと評価

### I—テストとはなにか

なぜテストをするのか? 遠山啓  
 評価のためのテストとは 平林浩◇㊦  
 ペーパーテストで評価はできるか—序列を  
 つけないテストの実践1 堀江邦昭◇㊦  
 教師にとってテストとは—序列をつけない  
 テストの実践2 田島文明◇㊦  
 テストの時間制限をなくしたら—序列をつ  
 けないテストの実践3 松井幹夫◇㊦  
 ぐうたら教師の無責任テスト 金井郁夫◇㊦  
 ヤマをかけあい、楽しいテスト—ヤマかけ  
 委員会をつくって 小原茂巳◇㊦  
 平均点31点! 新居信正◇㊦  
 知能テストを考える 小野慶子◇㊦  
 テストに対する悩みと疑問 渡辺洋一 ㊦  
 市販テストが子どもにもたらすもの  
 長谷川立子 ㊦

### II—点数評価を改める視点と実践

点数信仰を考えなおそう 遠山啓  
 おそろおそろと半歩を一公立中学校での評  
 価のとりくみ 城耕太郎◇㊦  
 おそろおそろと、さらに半歩を一公立中学  
 校での評価のとりくみ、その後  
 城耕太郎◇㊦

点数なんかなくても、教育はできる  
 荻原陽子◇㊦  
 到達度から5段階へ—評価の逆もどりに反  
 対する 松尾美味子 ㊦  
 1をつけなさい、それが教育だ!?!—長崎で  
 の通知表あともどり事件 松尾美味子 ㊦  
 5段階、教師は1度やったらやめられない  
 遠藤豊吉 ㊦

評価の洪水のなかにいる子どもたち—授業  
 のなかでの評価 平林浩◇㊦  
 子どもは神さまからのあずかりもの  
 糸井治子 ㊦  
 母親として子どもとかわることで  
 井上節子 ㊦

### III—子どもを生かす評価の実践

子どもを生かす評価を求めて—その改革の  
 ための足どり 奥地圭子◇㊦  
 子どもを評定できるのか—中学校教師の悩  
 みととりくみ 森啓之◇㊦  
 子どもたちに体育の目標をもたせたら—学  
 習意識のもりあがり「チビ先生」  
 峰幾子◇㊦  
 私たちの学校づくりと通知票—子どもがニ  
 コニコ受けとる通知票 西村寿雄◇㊦  
 大阪での指導要録改訂のととりくみ  
 西村寿雄◇㊦

### IV—通知票から評価票へ

#### —和光小学校の評価改革の歩み

通知票改訂の記 平林浩◇㊦  
 通知票から評価票へ—2段階評価、その後  
 平林浩 ㊦  
 子どものつまずきが発見できる喜び—和光

小学校の評価票の実践、その後 平林浩 ㊦  
 解説 大田堯

## 5 原点としての障害児教育

### I—障害児教育は教育の原点

教育の原点とは 遠山啓  
 障害児教育からの問いかけ 小俣軍平◇㊦  
 障害児教育こそ教育の原点 平林浩◇㊦  
 知恵おくれの子らに学んだ教育というしご  
 と 堀沢敏雄◇㊦  
 もうひとつの世界の子ら—筋ジストロフィ  
 症児とともに 半沢健◇  
 菊とダリアの花束をくれた子どもたち  
 大島千枝 ㊦

### II—障害児にとっての授業と学校生活

「障害児」教育のなかの私 小島靖子◇㊦  
 1対1対応をどう教えたか  
 都立八王子養護学校・算数グループ◆㊦  
 “ことば遊び”からはいる音楽の指導  
 都立八王子養護学校・音楽研究グループ◆㊦  
 暁子は1年生—脳性まひの子が文字を獲得  
 するまで 河原一男編◇㊦  
 カズエちゃんの学校生活—重度・重複障害  
 児を担任して 芳賀雅寿◇㊦  
 いちばんはじめの教育—障害の重い子への  
 とりくみ 岡田五百子◇㊦

### III—障害児の就学差別に反対する

子どもにとって、学校とは何か—就学差別  
 をめぐって 小俣軍平◇㊦

義務化がすすめる選別教育—養護学校義務化2年 北村小夜◇⊕

学校を問い、教師を問い、子どもの発達を問う—障害児をもつ母親は語る

小俣軍平 ㊟

障害をもつ知れくんの中学生活—普通学級へ転校して 内池多賀◇㊟

障害児は普通学級で、どう育つか—介助記録ノートから 伊部篤◇㊟

#### IV—障害児も健常児も学びあう

私のオドロキを分かちたくて—普通学級で難聴児を担当した1年間④ 野村みどり◇㊟

私のオドロキを分かちたくて—普通学級で難聴児を担当した1年間⑤ 野村みどり◇㊟

はだふれあう生活のなかで—障害児K君とクラスの子どもたち 青柳良子◇㊟  
ナイキメデス道場—特殊学級に普通学級の子どもを呼びこんで 鈴木敏英◇⊕

喜びもシンドサもともに—校長として普通学級へ障害児を受け入れる 要倉大三◇㊟  
解説 平林浩

### 6 障害者の自立と教育

#### I—障害を超えて自立する

いのちの手ごたえ—障害者にとっての子産みと子育て 三井絹子◇㊟

障害者として生きる 高橋徹+高橋豊子◇㊟

地域のなかで生きる—養護学校を卒業したS子さんの1年半 小島靖子+森みち子◇

障害をもつ友人にひらかれて 秋山玲子 ㊟

わたしの複雑な不安 小宮カツ子 ㊟  
障害者が社会に出る道は 小宮カツ子 ㊟

#### II—障害をもつわが子とともに育ちあう

全盲の子が自立して生きるために—しのぶちゃんのお母さんの話 高橋キヨ子 ㊟

普通学級のなかでこそ—障害児も健常児もともに育つ 荒井フミ子 ㊟

母親が変わり、子どもも変わる—自閉症児の親として 落合裕子 ㊟

友だち、何人できるかな—ことばおくれの子をもつ母の記録 上田芳子 ㊟

1人の人間として育てる—聴力障害者のわが子とともに 唐井永津子 ㊟

#### III—心を病む子が心のとびらを開くとき

心のとびらがひらかれるとき—自閉症児K君のこと 伊東信夫◇㊟

ひとりぼっちにしないでね—自閉症児の叫びから 荻原幸助◇㊟

障害をもつ子に教えられて—絵のかけない子は私の教師 松本キミ子◆㊟

はり絵で語る—自閉症の青年の自己表現 菊間猪三◇

悦子とミイヤ 山田満子 ㊟

#### IV—自閉症児ケンちゃんの成長の記録

授業の感動でつつみこむ 伊東信夫◇㊟  
人間ずきになってきたケンちゃん

伊東信夫◇㊟

人間集団のなかで心ひらかれる 伊東信夫◇㊟

なかまへの旅立ち 伊東信夫◇㊟

#### V—「ねむの木学園」の子どもたち

学校でない学校(1) 宮城まり子  
学校でない学校(2) 宮城まり子  
「ねむの木学園」を訪れて 原田智恵子◀㊟  
解説 小俣軍平

### 7 授業を創るとはなにか

#### I—子どもがよみがえる授業とは

子どもがよみがえる授業を 林竹二  
いま、授業をつくるとは 遠藤豊  
対談—いま、授業を変えなければ子どもは救われない 林竹二+遠藤豊

#### II—教えられる側の論理を追求する

教えられる側の論理 遠藤豊  
(座)忘れられない、よかった、ひどかった授業  
糸山立一+市丸誠+岸崎孝弘+菅哲+原田実基夫+堀川三郎+堀川譲二+木幡寛  
ほんとうに“わかる”ということ—〈花と実〉の授業と子どもたち 平林浩◇㊟  
授業ってなに?—舞楽を教えるなかで見つけたこと 糸井治子

#### III—教えられる側にとって授業を創る

授業が教師を変える—教師の“点数信仰”をどう脱皮するか 木幡寛◇㊟  
子どもたちよ、そのままの君で!—授業の中身で勝負しよう 小原茂巳◆⊕  
いま、鳴いておかなければ……—「詩の授

業」が子どもたちに引きおこしたの  
無着成恭◇㊥

#### IV—表現の授業からなにを学ぶか

生きる力、学ぶ力—子どもの「内的リアリ  
ティ」を育てる 三善晃  
(座) 表現とはなにか、生きるとはなにか  
①—歌・踊り・絵の授業をとおして  
三善晃+中森孜郎+埴原美枝子+大友昭  
+鈴木五郎+依田節夫+遠藤豊  
(座) 表現の授業からなにを学ぶか—表現と  
はなにか、生きるとはなにか②  
三善晃+中森孜郎+埴原美枝子+大友昭  
+鈴木五郎+依田節夫+遠藤豊

#### V—教育を学び、授業を創るために

授業記録の意味 遠山啓  
愛するひとへの授業記録 犬塚清和 ㊥  
かな文字の教え方 山本正次  
読み方、作文の教育 遠藤豊吉  
数学を勉強するために 遠山啓  
私にとっての1冊の本 石川充夫  
仮説実験授業の思想を学ぶ 重弘忠晴  
私にとっての本と著者 犬塚清和  
解説 遠藤豊

### 8 かな文字、作文、読みかせ

#### I—子どもを原点にした国語の教育

いま、国語教育を問うとは 遠藤豊吉  
子どもをゆたかにするために 遠藤豊吉  
平易で素朴な国語の授業をしたいと思う

#### II—人間の生き方を問う

##### —読み方の授業 1

「読みとり」というしごと 山本正次◆㊥  
読み方教材「花」の授業を受講して  
上野初枝 ㊥  
教材—「あんず林のどろぼう」 立原えりか  
あんず林のどろぼう—メルヘンを読む  
木幡寛◆㊥  
教材—「赤い風船」 外山滋比古  
「赤い風船」の少女をたずねて—エッセー  
「赤い風船」をよむ 木幡寛◆㊥  
教材—「びっくりヤコモチ」 宮口しづえ  
文学作品の読みとり—「びっくりヤコモチ」  
の授業記録 加藤光三◆㊥  
民話の読みとり「あとかくしの雪」  
山本正次◆㊥  
文学教材をみなおす—芥川龍之介「蜘蛛の  
糸」 遠山啓

#### III—戦争を読む—読み方の授業 2

教材—「一つの花」 今西祐行  
みんなの心に咲いた「一つの花」—「一つ  
の花」で戦争をどう教えたか 木幡寛◆㊥  
教材—「川とノリオ」 いぬいとみこ  
人間の生きかたを問う—戦争文学「川とノ  
リオ」を読む 池ヶ谷豆枝◆㊥  
教材—「ヒロシマのうた」 今西祐行  
「ヒロシマのうた」の読みとり 西沢光子◆㊥

#### IV—詩から何をうけとめるか

##### —詩の授業

詩の授業—三好達治「土」 野名龍二◆㊥

清原久元

「よみかた」の授業をつくる急所—授業くわ  
らわれたっていいのです)をつくりあげ  
るまで 山本正次 ㊥  
楽しい国語の授業—「春の歌」と「かわい  
そうなぞう」 無着成恭◆㊥  
詩「茂作じいさん」の読みとり 山本正次◆㊥  
詩「空をかついで」を読む 山本正次◆㊥  
詩「表札」の授業 無着成恭◆㊥  
「ぼろぼろな駝鳥」をよむ 無着成恭◆㊥

#### V—イメージを育てる—詩を書く

子どものつよやき 亀村二郎 ㊥  
詩の授業をつくる—絵本『のらいぬ』をつ  
かって 川太孝子◆㊥  
イメージを豊かにし、詩をつくる  
川太孝子◆㊥  
詩を書く子どもに育てるために 吉田俊一◇㊥  
どの生徒にもできる詩の授業—高校生と詩  
をつくる 松金進◆㊥  
解説 山本正次

## 9 読み方の授業、詩の授業

#### I 国語教育の原点—かな文字の授業

かな文字と数の指導以前 横森サチ子◆㊥  
かな文字の指導—一字一音のかな文字を教  
える 横森サチ子◆㊥  
かな文字の指導—くつつき(格助詞)・つ  
まる音・長音を教える 横森サチ子◆㊥  
かな文字の指導—長音(え段・お段)、ねじ  
れた音、読み・書きを教える  
横森サチ子◆㊥



1年生のひらがな教室—集まれ！ 1年ほ  
うず 西沢光子◆④  
学校でカタカナは教えられているのか  
井手靖子◆④

## II—書くのだいすき—作文の授業

子どもは表現が好きだ—1年生の教室より  
遠藤豊吉◆④  
ことばのおもしろさを教える—「にほんご  
1」をつかって 遠藤豊吉◆④  
よく思ひだしてかいてみたら—作文は子ど  
もが生きているあかし 鈴木美子◆④  
奪われたことばをとりもどす 寺崎和憲◆④  
高校生の文章力を育てる 松金進◆④  
あなたはどこに読点を打ちますか  
石川充夫◆④

## III—絵本はことばの宝庫—読みきかせ

絵本のよさとたのしき—『ももたろう』  
横森サチ子◇  
絵本をみるのはこんなにたのしい  
横森サチ子◆④  
ほく、この本が好きだという子に—小学校  
1年前期・絵本「またもりへ」  
横森サチ子◆④  
字のない絵本の読みきかせ—イエラ・マリ  
「りんごとちょう」「木のうた」  
横森サチ子◆④  
絵本『のらいぬ』のよみとり 横森以佐武◆④  
『猫は生きている』の読みきかせ—手づくり  
の版画絵本を使って 横森サチ子◆④  
おばあちゃんまでまきこんだ親子読書—む  
かしばなし「まけうさぎ」の読みきかせ  
横森サチ子

## IV—一本の世界のゆたかさ —本好きな子どもをつくる

生徒と絵本はたからもの 香川節子◆④  
読みきかせをだいに 井出村由江◆④  
先生、もういちど読んで！ 山本小英◆④  
ほくたち、ホントは本が好き 原田智恵子◆④  
読んでたのしい、きいてたのしい  
宮口正子 ④  
優等生にされた金太郎 上野初枝 ④  
母ちゃん、ほくが本を読んであげるよ  
宮島郁子 ④  
安らぎのひとつとき—『のんびりおじいさん  
とねこ』を読む 山本淳子◆④  
この1冊の本—『きかんしゃやえもん』  
瀬崎睦子◆④  
わたしが楽しいから 佐伯ルミ子◆④  
どんなに疲れていても 掛川悦子◆④  
お話の場面が見えてくるような 吉田澄江◆④  
親と子の結びつきを求めて 渡邊良子◆④  
小さな一歩として 則松和恵◆④  
解説 横森サチ子

## 10 漢字の学び方・教え方

### I—漢字教育の改革のために

(座) 漢字教育の改革を求めて—「これなら  
楽しくできる／漢字の教え方」をめぐつ  
て 藤堂明保＋岡田進＋遠藤豊吉  
はじめての漢字指導をどうするか 宮下久夫 ④  
漢字入門期の指導—漢字の発生から教える  
奥田公喜 ④

漢字の型分けによる筆順の指導—子どもが  
自分で筆順を覚えるために 井手靖子◆④  
日本人にとっての日本語 遠山啓

### II—みんなが好きになる漢字の授業 1 —漢字のなりたち

漢字のなりたちと指導内容—量と水道方式  
の発想から 岡田進◆④  
指事文字・会意文字 岡田進◆④  
形声文字 岡田進◆④

### III—みんなが好きになる漢字の授業 2 —漢字のくみたち

漢字のくみたちと筆順 岡田進◆④  
漢字家族(1) 岡田進◆④  
漢字家族(2) 岡田進◆④  
あわせことば(1)—2字の熟語のでき方・よ  
み方 岡田進◆④  
接頭辞と接尾辞 岡田進◆④  
長い熟語と、その略語 岡田進◆④

### IV—みんなが好きになる漢字の授業 3 —送りがなと漢字づくり

送りがなの指導(1)—動詞・形容詞 岡田進◆④  
送りがなの指導(2)—品詞をかえる 岡田進◆④  
あわせことば(2)—送りがなを要するあわせ  
ことば 岡田進◆④  
あわせ名詞をつくる 岡田進◆④  
あわせ動詞をつくる 岡田進◆④  
漢字家族(3) 岡田進◆④  
漢字家族(4) 岡田進◆④

### V—漢字ゲームと単語家族づくり

漢字ゲーム 岡田進◆④

## 内容索引

続・漢字ゲーム 岡田進◆④  
単語家族を教えよう 岡田進◆④  
解説 伊東信夫

## 11 算数の急所,その教え方

### I 一算数の急所1—数と計算

算用数字のしくみ 遠山啓  
暗算と筆算 遠山啓  
たし算 遠山啓  
かけ算九九 遠山啓  
わり算 遠山啓

### II 一算数の急所2—量と応用問題

量から数へ 遠山啓  
分数と小数 遠山啓  
連続量の単位 遠山啓  
連続量のいろいろ 遠山啓  
応用問題のむずかしさ 遠山啓  
たし算・ひき算の応用問題 遠山啓

### III 一算数の急所3—集合と関数

集合とはなにか 遠山啓  
集合とその計算法 遠山啓  
集合の直積 遠山啓  
関数とは何か 遠山啓

### IV 一0と位取りを教える

0の意味 石川充夫◆④  
0のたし算 石川充夫◆④  
0のひき算 石川充夫◆④  
タイルの算数って、たのしいな—十進法と

位取りの原理の指導 岡田進◆④  
1億タイルのうえてボール投げ—続・十進  
法と位取りの原理の指導 岡田進◆④

### V 一小数と分数を教える

分数と、そのたし算・ひき算 岡田進◆④  
小数と、そのたし算・ひき算 岡田進◆④  
分数のかけ算・わり算 岡田進◆④

### VI 一量を教える

なぜ教具をつくるか 久保田文作◇④  
体積・こみぐあい・平均 久保田文作+鍋谷総子◇④  
「時間」をどう教えるか 久保田文作◇④  
地球の運動を教える 久保田文作◇④  
解説 銀林浩

## 12 遊びながらの算数

### I 一遊びながらの算数

遊びながらの算数 遠山啓  
算数の授業づくりの急所中の急所—タイル  
ゲームで10進法の位取りを教えよう 岡田進◆④  
苦手な子のための一週間の算数教室—トラ  
ンプ遊びによる正負の数 松井幹夫◆④  
3日間で算数がすきになった—はこのさん  
すう 田島文明◆④

### II 一だれでも教えられる ゲームによる授業

べべといっしょに算数の授業をつくる—く

りあがりのあるたし算 品田孝子◆④  
「富士登山」ゲームでたし算の勉強  
米内幸一◆④  
くりあがりのあるたし算 大森好子◆④  
ぼくもわたしも一休さんよ—くり下がりの  
あるひき算 多久龍太郎◆④  
牛乳びんのふたで遊ぼう—1年生でもやれ  
る座標の勉強 増田忠之◆④  
旗とり競争—2年生の座標の指導  
大野智意子◆④  
金メダルをめざしてUターナー—かけ算で  
自信をつけて、たし算を学ぶ 大西幸子◆④  
「時間」の指導—3年生に「秒」を教える  
佐藤都茂子◆④  
陣取りゲーム—4年生の面積の授業から  
田島文明◆④  
デシリットルの指導—辻堂母親・子ども教  
室での実践 石川充夫◇④

### III 一割合分数か、量分数か

おのれの生きざまを授業に賭けるとき  
—算数の授業書「量の分数」とその周辺  
新居信正◆④  
目ざめのよさと、夜明けのすがすがしさを  
—授業書第1部「量分数の大きさとその  
意味」 新居信正◆④  
目ざめのよさは、いつの日に一わり算の答  
えを分数であらわす 新居信正◆④  
折り紙の分数(1)—分数と、そのたし算  
田中かほる◆④  
折り紙の分数(2)—かけ算・わり算  
田中かほる◆④  
なぜ、分数ができないか—割合分数の後遺  
症 宮本敏雄

IV—ゲームの算数1—数と計算

トランプゲーム—三者関係 石川充夫◆④  
 カードならべ—5までの数 岡田進◆④  
 ミサイルゲーム—一位どり 石川充夫◆④  
 登山ゲーム—たし算・ひき算 石川充夫◆④  
 計算、型わけゲーム—たし算・ひき算

石川充夫◆④  
 型わけ問題づくり—たし算・ひき算・かけ

算・わり算 岡田進◆④  
 絵合わせゲーム—かけ算九九 石川充夫◆④  
 戸じまりゲーム—かけ算九九 石川充夫◆④  
 かけ算カルタ—かけ算 岡田進◆④  
 割り算リレー—わり算 石川充夫◆④  
 計算ゲーム—演算練習 石川充夫◆④

V—ゲームの算数2

—小数・分数と互除法・倍数

芽生えゲーム—小数 石川充夫◆④  
 ドミノゲーム—分数の約分・通分

石川充夫◆④  
 約分・倍分ゲーム—約分・倍分 石川充夫◆④  
 互除法ゲーム①—互除法 石川充夫◆④  
 互除法ゲーム②—互除法 石川充夫◆④  
 互除法ゲーム③—互除法 石川充夫◆④  
 ページワンゲーム—倍数 石川充夫◆④  
 倍数おにごっこ—倍数 石川充夫◆④  
 ビンゴゲーム—倍数 石川充夫◆④

VI—ゲームの算数3

—座標・面積・方程式

暗号文ゲーム—座標 石川充夫◆④  
 おはじきとりゲーム—座標から図形へ 石川充夫◆④

陣とりゲーム—方眼座標と面積 石川充夫◆④  
 タングラムゲーム—図形 石川充夫◆④  
 国盗りゲーム—面積 石川充夫◆④  
 数あてゲーム—方程式 岡田進◆④  
 解説 岡田進

13 たのしい算数・数学の授業

I—“算数探検”物語

“めんせきやしき”のたんけん—大長編算数物語 木幡寛◆④  
 銀河鉄道の旅—メルヘンでつくる楽しい算数(概算) 木幡寛◆④  
 “立体村”の思い出—ゲームと操作で「空間」を教える 木幡寛◆④

II—算数ざらいの子のための授業

—遠山塾のルボ

関数の授業—1976年夏 原田智恵子◆④  
 魔方陣・倍数の授業 —1977年夏(1) 原田智恵子◆④  
 互除法の授業—1977年夏(2) 原田智恵子◆④

III—中学数学への紹侍

中学生に知的思考の感動をあたえたい —「整数の性質」の授業 榑忠男◆④  
 カードとゲームで正負の数を教える—加法と減法 伊神幸雄◆④  
 “数楽”の授業をめざして—折り紙で学ぶ線分比・面積比・体積比 入江敦子◆④  
 わら半紙を使つての正比例の授業 宮沢望◆④  
 手でつくり、手で学ぶ数学—タイルを使つ

た文字式と因数分解 河合和美◆④  
 数学の授業をつくる急所—実験・ゲーム・作業をとりいれた授業 榑忠男◆④

IV—恋とロマンの高校数学

青春の数学日記—中・高校生の確率入門 江藤邦彦◆④  
 マンガを生かした高校の数学—手づくりの三角関数(1) 江藤邦彦◆④  
 マンガを生かした高校の数学—手づくりの三角関数(2) 江藤邦彦◆④  
 完全数のかがやき—恋とロマンの高校数学 江藤邦彦◆④  
 美のなかに数学の論理を求めて—2次方程式の授業 江藤邦彦◆④  
 教科書からはなれ、授業の旅にて—うーゲームとマンガをつかって 江藤邦彦◆④

V—高校数学への紹侍

“数楽カーニバル”への招待状—こんなにおもしろい高校数学 藤村紀夫◆④  
 折り紙の数学 堀井洋子◆④  
 問題をつくる楽しさ 黒田俊郎◆④  
 解説 江藤邦彦

14 たのしい科学の授業I

I—科学の授業を創る

おもしろいと思うことを教えたい—「科学の授業」をつくる原則 平林浩◆④  
 「科学の授業」をつくる原則—仮説実験授業の18年を整理して 平林浩◆④

## 内容索引

予想させれば、いい授業になるか 平林浩◇④  
ほんとうの理科教育とは 津久井憲司◇⑤

### II—たのしい授業 1

足はなんぼん? 鈴木昌子◇④  
続・足はなんぼん? 鈴木昌子◇④  
〈空気と水〉の授業記録 小野田三男◇④  
1年生でも、こんなに討論ができた—〈空気と水〉の授業から 平林浩◇④

### III—たのしい授業 2

すばらしい授業をつくりだす原則  
—〈ばねと力〉の授業記録 平林浩◇④  
たのしかったカメラづくり  
—〈光と虫めがね〉の授業記録  
芳我トシエ◇④  
想像することのたのしさ・すばらしさ—  
〈もし原子が見えたなら〉の授業記録  
西谷亀之◇④  
じしゃくの授業 平林浩◇④

### IV—科学の授業の周辺

科学の本のウソに悩まされて—花粉はブラウン運動をするか 名倉弘◇  
ブラウン運動をみるコツ 佐藤圭司  
ジャガイモ物語 柳田和伴  
重さの錯覚—科学読みものの読みとり  
山本正次◇④  
1円玉をたくさん水に浮かべてみよう  
勝木渥  
“むこうみず”の勝利—母親による仮説実験  
授業 富浦昭子+真下慶子◇⑤  
科学教室を開いて—科学を学ぶ母親たち  
小林昭子◇⑤

母親が科学を学びなおして 宇井真智子◇⑤  
解説 平林浩

## 15 たのしい科学の授業II

### I—〈結晶〉の授業

新しい世界が開けるよるこび 平林浩◇④  
いよいよ〈結晶〉の世界へ 平林浩◇④  
なぜ結晶はきれいな形になるの 平林浩◇④  
結晶は原子や分子がきちんとならんで  
きる 平林浩◇④

### II—〈セキツイ動物の分類と進化〉 の授業

セキツイ動物の分類と進化(1) 犬塚清和◇④  
セキツイ動物の分類と進化(2) 犬塚清和◇④

### III—中学・高校の授業

〈宇宙への道〉—はじめての仮説実験授業  
中井静夫◇④  
イラストを生かした物理の授業—“慣性”  
とは“ものぐさ”のことなり 伍井一夫◇⑤  
仕事と熱の関係—イラストでつづる物理の  
授業 伍井一夫◇⑤

### IV—なんで科学を学ぶの?①

—原子論的世界観へ

バカの一つおぼえ—合成洗剤問題を考える  
城雄二  
1+1+1+……+1→1?—一人一人が  
いかしあう世界 城雄二  
百年まえの自分と百年後の自分—生不滅

の原子の旅 城雄二  
見えない世界を引きよせる—1から2を考  
えるあぶなさとすばらしさ 城雄二  
男原子と女原子でつくる宇宙—自分のこと  
は他人が見立ててくれる 城雄二

### V—なんで科学を学ぶの?②

—原子・分子の引力と動力

どの星に生物が住んでいるか—引力が世界  
のからくりをあやつる 城雄二  
奇人・変人の電気磁石—水と人の生活  
城雄二  
引く力と動く力であやつられる世の中—な  
ぜ、かたまり、とけるのか 城雄二  
雨が降るから洗濯ものがかわく—自由に動  
きまわる原子 城雄二  
生産と“よごれ”から見た文明—太陽こそ、  
生命のエネルギー 城雄二  
ホントのことは矛盾している—ものの見方  
の二つの側面 城雄二  
科学と幸福 城雄二  
解説 平林浩

## 16 社会科の授業・現代社会と人間

### I—現代産業を教える

見えないものを見る力—社会を読む里見実  
えんぴつができるまで—どれだけの人手が  
必要か 奥地圭子◇④  
教材—えんぴつができるまで  
自動車産業—経済学習・現代資本主義を考  
える 若木久造◇④

未来の労働者となるきみへー「労働組合の  
生いたちと労働基本権」の授業 家田光祥◆㊦

## II一原爆から原発へ、生命を考える

にわとりを殺して食べる 鳥山敏子◆㊦

原子力発電とはなにかー「原発ジブシー」の  
著者・堀江邦夫さんを迎えて 鳥山敏子◆㊦

なぜ、「にわとりを殺して食べる」授業を組  
んだか 鳥山敏子◇㊦

人間の欲望はどこまでいきつくのか  
鳥山敏子◇㊦

「にわとりを殺して食べる」授業への疑問  
駒沢久子 ㊦

## III一水と緑と土、そして人間

むかしの堤防、いまの堤防 木幡寛◆㊦

都市河川と氾濫から水害を考える 木幡寛◆㊦

ダムと都市と人間と 木幡寛◆㊦

## IV一社会科の授業をどうつくるか

子どもの生き方にかかわる授業を  
若木久造◆㊦

「武士のおこり」を教える 小林富江◆㊦

忙しさこそわが生きがい 近藤貞巳◇㊦

こんぶの授業ができるまで一教師が歩けば  
授業プランにつかる 近藤貞巳◆㊦

解説 丸木政臣

## 17 社会科の授業・自然と人間

### I一ひとと水

ひとと水①ー「遺跡と湧き水」「井戸掘りの

技術」 鳥山敏子◆㊦

ひとと水②ー「多摩川」をつくって遊ぶ

鳥山敏子◆㊦

信玄堤① 河野浩士◆㊦

信玄堤② 河野浩士◆㊦

川と人間一川のたびく小学校4年の実践  
奥地圭子◆㊦

### II一ひとと食

一粒から千粒へ①ー低学年社会科「米の話」  
近藤貞巳◆㊦

一粒から千粒へ②ー低学年社会科「米の話」  
近藤貞巳◆㊦

大昔のたべもの一たべもの話(上)  
梅本澄雄◆㊦

穀物をつくりはじめたころ  
一たべもの話(下) 梅本澄雄◆㊦

### III一ひとと地理

地図を教える一その①・位置感覚をつかむ  
(1年生) 保坂治男◆㊦

地図を教える一その②・目で見、手でつく  
り、足で体験する(2~4年生)  
保坂治男◆㊦

たのしくわかる地図の授業一低学年社会科  
・「位置」をとらえる(上)

渡辺隆+桜井元+田中裕+星野亮三◆㊦

たのしくわかる地図の授業一低学年社会科  
・「位置」をとらえる(下)

渡辺隆+桜井元+田中裕+星野亮三◆㊦

丸い世界とたいらな世界一算数の授業から  
社会科の授業をつくる 木幡寛◆㊦

## IV一人間とはなにか

野尻湖人を求めて一井尻正二さんをかこん  
で 井尻正二+森河貞子+長谷川立子  
人間とはなにか一井尻正二著『ふしぎふし  
ぎ人のからだ』の集団読書の記録

飯田敏◇㊦  
進学高校で「マンモス狩り」 徳丸達也◆㊦

手のしくみからナイフづくりまで一「手」の  
授業 木幡寛+一瀬清◆㊦

解説 若木久造

## 18 ものづくりの授業、家庭科の授業

### I一新しい家庭科教育への提案と実践

家庭科への提案 遠山啓

「家庭」から「生活」へ 小沢牧子 ㊦

家庭科から子ども祭へ 平林浩◇㊦

家庭科で人間尊重の社会を創るには  
山崎美恵子 ㊦

男女で学んだ保育学習一高校3年生の家庭  
科 佐藤美枝子◆㊦

一枚の布を着る 菊池浄◆㊦

みそを作る一家庭科教師2年めの実践  
後藤真知子◆㊦

子どもとつくる「すまい」の授業一中学1  
年の家庭科 諫元正枝◆㊦

### II一手のはたらきとものづくりの授業

子どもにとって道具とは何か 遠藤豊吉

手の教育について思うこと 久保島信保

道具と大工さん 平原弘

## 内容索引

わりばしペンから弓矢づくりまで—1年生  
の工作 平林浩◆④  
虫かごづくり—2年生の木工作 梶原政子◆④  
お母さん先生とつくった鈴の授業

植田博資◆④

ものをつくる授業—ナイフとこくもつ

高田清香◆④

木工のすばらしさを教える—明星学園・山

内先生の授業

長谷川立子◆④

ボンボン蒸気船づくり—授業のなかでうけ

つがれる文化

白銀一則◆④

### III—食べものをつくって食べる

こんにゃくづくり

梅本澄雄◆④

とうふを作ろう！—若い教師がとりくんだ

「創造クラブ」 柴田清子+鈴木由紀子◇④

インドカレーとチャパティをつくる—中学

校の地理学習「インド」

若木久造◆④

母親がやった「パンの授業」

絹川久子◆④

わが家のパンづくり

高木志づゑ◇④

### IV—布づくりと人間の生活

織り機をつくり、布を織る—教師3年めの

実践

後藤真知子◆④

コットン・ボールが開いた—綿をつくり、

糸をつむぐ

高田清香◆④

布づくりの実践から—大昔のくらしを学ぶ

多久龍太郎◆④

やってみよう！ 草木染め、毛布づくり

—3年生の“総合”の授業

—瀬清+宮島郁子◆④

解説

奥地圭子

## 19 音楽の授業、美術の授業

### I—音楽・人間・教育

対談—音楽・人間・教育

間宮芳生+遠山啓 司会・奈良清利

子どもを中心にした音楽教育を—自伝的音

楽放談

園部三郎

### II—だれでも楽しく歌えるために

だれでも楽しく歌えるために—声をきかせ

るまで

植原美枝子◆④

歌を表現させる授業

植原美枝子◆④

たのしく歌をうたう授業をつくるまで

植原美枝子◆④

楽譜を教える授業

植原美枝子◆④

### III—たのしい音楽の授業と子どもたち

みんなが楽しんだ「森のくまさん」

山浦敬子◆④

子どもは音楽が大好き

山浦敬子◆④

小さなアレンジャーたち—編曲の授業をと

おして子どもの力を見なおす 法島隆志◆④

小さな学校の大きな合唱 植原美枝子◆④

“表現”の授業を求めて—合唱曲「山河抄」

と子どもたち

大友昭◆④

“とらわれ人”の歌をつくるまで—中学2年

生のレポート

米山みゆき ④

音楽ギライから音楽ズキヘ—ロック・グル

ープをつくって

上野俊哉 ④

### IV—入門期の美術教育

線をかく

横森サチ子◆④

色と形

横森サチ子◆④

色の合成と描写

横森サチ子◆④

大きな絵本「いたずらこねこ」をよむ

横森サチ子◆④

手をかく

横森サチ子◆④

紙版画絵本「大きなかぶ」をつくる

横森サチ子◆④

### V—美術教育をとらえなおすために

芸術家はつらいよ—“雨ふり”の絵を描く

堀江晴美◆④

はじめて美術の授業ができた—「するめ」

を描く

小川信夫◆④

絵筆についてこう教えた—一色をぬる失敗を

なくすために 久保島信保+横森喜鴻◆④

毛筆での線がき—デッサンを考える

久保島信保◆④

美術教育で評価をどうしたか

原口好博◇④

解説

鈴木五郎

## 20 だれでもできる体育の授業

### I—しなやかなからだをつくる

しなやかなからだと教育 竹内敏晴

からだぐるみのかしこさを(1)—しなやかな

からだを育てる体操・初歩コース

つるまきさちこ◆④

からだぐるみのかしこさを(2)—しなやかな

からだを育てる体操・初歩コース

つるまきさちこ◆④

私は体育がきらいだった

安高純代◇④

凍っていたノド

つるまきさちこ◆④

## II—みんなができるようになる 体育の授業

だれでも泳げるドル平泳法 菊池浄◆④  
わかって泳げるドル平の授業 堀江邦昭◆④  
みんながとびこせるとび箱の指導—腕立て  
開脚とびこし 小久保昇治◆④  
ワーイーノ とべた、ぜんぶの子が4段を  
—ほんとうに、とび箱がとびこせた

村田尚子◇④  
一巨と里枝がとび箱をとんだ—ほんとうに、  
とび箱がとびこせた 平野正美◇④  
頭で立つ逆立ち 中森孜郎◆④  
調べあい、教えあう側転の授業—小学校2  
年生のマット運動 堀江邦昭◆④

## III—子どもが心をひらく民舞の授業

民謡舞踊「そうらん節」の授業 中森孜郎◆④  
私はソウラン節の踊りが好きだ—明星学園  
中学校での実践 依田節夫◆④  
“春駒”の踊りをつくる—明星学園小学校4  
年生の授業 依田節夫◆④  
鬼剣舞の踊りを追求する 依田節夫◆④

## IV—体育ぎらいから体育ずきへ

“体育ぎらい”から“体育ずき”へ  
平林宏美◇  
子ども全員とび箱をとばせる—それがなぜ  
教師の常識にならないのか？ 向山洋一◆④  
全員、とび箱がとべた—開脚とび、閉脚と  
びの授業 小野洋一◆④  
子どもたちがつくったマスゲーム 小野繁◆④  
子どもを体育ぎらいにする—体育の研究指  
定校を外側から見る 佐藤愛子 ㊟

なんのための研究か—体育の研究指定校を  
内側から見る 藤田節子 ④  
私にも体育が教えられた—体育ぎらいの教  
師の記録 沢辺与夫◇④  
解説 中森孜郎

## 21 日本人にとっての英語教育

### I—なんとかならないか、英語教育 —英語教育の問題点をさぐる

なんとかならないか、英語教育 遠山啓 ㊟  
英語ぎらいにさせないで 上野初枝 ㊟  
英語おちこぼされの記 山寺恭子 ㊟  
先生は何を教えたの？—家庭教師の立場か  
ら 茅哲 ㊟  
「週3時間」への心配 福富美津代 ㊟  
“落ちこぼし”をふやす新指導要領—逆行  
する「週3時間」体制 阿原成光 ㊟  
なぜ日本人は英会話ができないか  
鈴木武樹 ㊟  
英語の授業のこと 根上侑子 ㊟  
トイレの中でも英語のお勉強？ 上野初枝 ㊟  
ほんものの英語ってなんだ？  
—中学2年生・四人の女子グループ ㊟  
先生、生きた英語を教えてください 梅村能子 ㊟

### II—なんとかしたい、英語教育 —英語教育への提案

英語との半世紀のつきあい 遠山啓 ㊟  
英語からの落ちこぼれをなくすには  
松田徳一郎 ㊟

英語教育法の一つの視点 津田幸利 ㊟  
英語教育の最初のだいいな問題—発音とつ  
ぶりの指導 江本清弘◇④  
予習のない英語教育を 森毅 ㊟

### III—たのしい英語の授業—その実践

ビートルズで学ぶ英語の授業—ある学習塾  
の実践から 日比野満◆④  
たのしい英語まんがノートづくり  
赤坂美智子◆④  
英語の授業って、楽しい 塩沢孝子◆④  
日本語との対比のなかで—“受動態”の授業  
中原まき◆④  
マンガでの英語自由表現 斎藤央◆④

### IV—1丁目1番地、小さな英語教室

教え、学ぶお母さん先生 江藤美代子◆㊟  
ようそこ、英語詩の世界へ 江藤美代子◆㊟  
英語トランプで世界の旅へ 江藤美代子◆㊟

### V—日本人のための英語教育を考える —英語社会のなかで

自分の英語で話そう—フィリピンからのた  
より① 渡辺幸子 ㊟  
国際学校での母と子—フィリピンからのた  
より② 渡辺幸子 ㊟  
国際学校での英語教育—フィリピンからの  
たより③ 渡辺幸子 ㊟  
アメリカの感覚、日本の感覚—アメリカか  
らの子育てレポート① 永家光子 ㊟  
アメリカの小学校の授業風景—アメリカか  
らの子育てレポート② 永家光子 ㊟  
アメリカで思うことは日本のことばかり—  
アメリカからの手紙 福岡靖史 ㊟

個性を生かす教育—高校生活／日本とアメリカ  
 リカ 宮本香織 ㊦  
 解説 森毅

## 22 戦争を教える

### I—なぜ戦争を教えるのか

日本人と戦争 遠山啓  
 自分自身を問うべきとき—平和教育について考えること 日高六郎  
 戦争を学習することの意味 丸木政臣  
 なぜ、いま、戦争を問うのか 遠藤豊吉  
 戦争への流れに女たちの声を 澤地久枝  
 「戦争のない世界」について 遠山啓

### II—戦争を教える授業

アウシュビッツ—戦争を教える 河野浩士 ㊦  
 憲法第9条からベトナム戦争まで 若木久造 ㊦  
 「銃を握る子どもたち」を授業にして—15年戦争を教える 西沢紀生 ㊦  
 厭戦歌「戦友」の授業 山本正次+友渕洋司 ㊦  
 厭戦歌「戦友」の授業に異議あり！ 五味洋+竹内保子  
 厭戦歌「戦友」の授業への疑問 友田陽子 ㊦

### III—ヒロシマ・ナガサキを伝える実践

子どもたちと“原爆”の創作劇をつくる—  
 「さびたミシン」上演まで 奥地圭子 ㊦  
 真実の戦争を伝えるために—「はだしのゲン」上演 宮沢望 ㊦

脚本—はだしのゲン—中学生の創作劇  
 鈴木孝枝+井上晴美  
 「ひろしまのピカ」を読んで 長谷川立子 ㊦  
 ナガサキへの修学旅行 多久龍太郎 ㊦  
 ヒロシマへの修学旅行—被爆体験は伝えられるか 柴田迪春 ㊦

### IV—沖縄と戦争

准看護婦として戦禍をくぐり、いま……  
 —沖縄での戦争体験 赤嶺とみ子  
 戦争をとらえて沖縄を学んで—「沖縄での戦争体験」を読む 川西南中学1年生 ㊦  
 沖縄・1945 照屋寛清  
 戦争に閉ざされた青春—「ひめゆり部隊」の友を失って 兼次京子  
 私の受けた沖縄の教育—戦争は終わっていなかった 仲島純一郎

### V—親から子へ伝える戦争体験

子どもたちといっしょに戦争を考える—あ  
 る読書会から 金子礼子 ㊦  
 子どもに語った父と母の戦争体験 松井幹夫・松井紀子 ㊦  
 孫に語り伝えたい、私の戦争体験 畠中美子 ㊦  
 人間がつくりだした地獄—私の家は平和記念公園のなかにあった 高橋昌子 ㊦  
 私の戦争体験記 森知子 ㊦  
 終戦前後 秦英一 ㊦  
 戦いにあけくれた日々 高橋留治 ㊦  
 8月15日は軍国最後の日に 島村孝子 ㊦  
 昭和ヒトケタの戦時下の生活 保坂治男 ㊦  
 しらみ・銃・盗み食い 溝口淳子 ㊦  
 若者にとっての“戦争体験” 三田典玄 ㊦

戦争を描いた子どもの本の父の死 長谷川立子 ㊦  
 満州からの引き揚げ 井上フミ子 ㊦  
 解説 入江敦子 ㊦  
 丸木政臣

## 23 子どものからだと公害の授業

### I—子どものからだと食べもの

食はすなわち薬なり、命なり 柳沢文正  
 食べることを母親の手に—パン屋のおやは考える 望月継治  
 やせる話—保健の授業 武内貴恵子 ㊦

### II—子どものからだがかむしばまれている

小学生から胃潰瘍になるのはなぜか 並木正義  
 子どもを襲う現代病 並木正義  
 子どものからだの異常信号を考える 正木健雄  
 いま、子どものからだに何がおこっているか—保健室からのレポート 荻野祥三 ㊦  
 保健室からみた子どもの体力 奈良靖子  
 コーラで骨をむしばまれる 宮島郁子  
 つくられた“障害児”“病児”—小児科の診察室から 山田真  
 (座) 親のこころ、子どものこころ  
 —家庭・学校・診察室  
 毛利子来+遠藤豊吉+上野初枝

### III—公害と教育

生きることと食べること 城雄二



人間も自然の一員である—モンキーセンタ  
ーの奇形猿の叫び 小島貞彦  
原子力発電、危険がいっぱい 宮島郁子  
薬公害を公表する 宮島郁子  
学校給食はだれのため？ 宮島郁子  
楽しい公害教育なんてあるの 城雄二◆

#### IV—食品公害を授業にする

子どもの自然観をつくる—「たべものとうん  
こ」の授業 石川愛子◆④  
みかけじゃないよ、中身だよ—〈ジュース  
にはいつているもの〉の授業記録  
堀江晴美◆④  
食べもの・飲みもの・なんの色？—きれい  
な色には毒がある 吉村七郎◆④  
スカッとさわやか、命ちぢめます—コカ・  
コーラの授業 竹田美紀子◆④

#### V—学校給食の実態と、 その改善のこころみ

“食べさせられる”のはゴメンだ 宮沢望  
“食べる”ことを他人まかせにしていると  
—浦和・給食集団中毒事件 宮沢望  
子ども不在になる給食センター 小崎光子  
冷凍食品・そのなかみをしらべてみたら  
加藤真代  
給食業者からみた学校と教師 山田真  
学校給食改善への提案—母親や子どもたち  
の参加 竹内直一  
学校給食に親子二代つきあって  
長谷部順子 ④  
子ども本位の学校給食を 宮島郁子  
無農薬野菜の学校給食 宮島郁子◀④  
どこへいったお袋の味 大寄英夫

解説

城雄二

## 24 教育にとって教科書とは

### I—教育にとって教科書とはなにか

教科書のこれまでとこれから 遠山啓  
教科書問題とおとなの責任—自民党の教科  
書攻撃を批判する 山住正己  
なぜ教科書がねらわれるのか—“ウソつき  
教師”の体験的証言① 吉田六太郎  
なぜ教科書がねらわれるのか—“ウソつき  
教師”の体験的証言② 吉田六太郎  
むかしの教科書、いまの教科書  
新井恵美子 ④  
私にとっての教科書 長谷川立子 ④

### II—教科書検定と採択をめぐる

教科書の外側と内側 遠山啓  
なぜ教科書裁判をおこしたか 家永三郎  
文部省の競争原理を告発する—一家永教科書  
裁判 証言者・遠山啓◀  
証言を終えて 遠山啓  
採択はだれがきめるのか 高野憲子 ④

### III—教科書を実践的に検討する

国語の教科書、そのガラシナサについて  
遠藤豊吉 ④  
明るく、希望にみちた国語教科書？  
遠藤豊吉 ④  
1年生の国語教科書—はじめて1年生を担  
任して 遠藤豊吉 ④  
4年生の評価した教科書教材 山本正次 ④

子どもを苦しめる暗算教科書—啓林館発行  
『改訂さんすう』（低学年）をみて  
石川充夫 ④

教科書ではわり算をまちがえる  
小西リツ子 ④  
暗記以外にない歴史の教科書 重政文三郎 ④  
1億7800万冊のなかの〈国家〉—新教科書  
診断 森口裕  
“戦争”は教科書でどうあつかわれているか  
田中幸子 ④  
韓国人からみた日本の歴史教科書 勝木渥  
絵にならない教科書のさしえ 森山四郎

### IV—市販テスト・学用品、 これでいいのか

市販テストは教科書か 遠藤豊吉  
ゆ着するテスト業者と学校—大阪・偏差値  
騒動のあとさき 石津定雄◀  
“テープ付き赤本”売ります 永家光子  
なぜ、子どもは学用品を大切にしないか  
平林浩  
オモチャか、けしゴムか 岡田進  
欠陥の多い地図帳 宮島郁子  
学内で販売される学用品 永家光子◀④  
デラックスな机 上野初枝 ④  
宣長の机 遠山啓  
子どもの総反撃をくった『夏休みの友』廃  
止 辻潤治◀④

### V—教科書を超える視点

先生、しっかりしてや 斉藤君子◀④  
やっさん物語 斉藤君子◀④  
みずからを貫くために—教師の同人誌『き  
ら』を出しつづけて① 宮沢望

教師の“自己表現”とはなにか—教師の同人誌『きら』を出しつづけて② 宮沢望  
生徒たちにテストをボイコットされて—教師の同人誌『きら』を出しつづけて③ 宮沢望  
声なき声とともに歩む—教師の同人誌『きら』を出しつづけて④ 宮沢望  
解説 石川充夫

## 25 教師の生き方、教員養成

### I—子どもとともに生きる 教師になるために

くたばれ、優等生(上) 山本正次  
くたばれ、優等生(下) 山本正次  
子どもの心をひらきたい 中島孝一◇④  
子どもに「生きる力」の原点を 伊藤守◇④  
対談—1年生を受け持つことのすずめ  
遠藤豊吉+松井幹夫 司会・遠山啓

### II—教師が権力者でなくなるとき

おのれの生きザマを問いつづけるとき 新居信正  
おのれの生き方を軸として 新居信正  
わたしたち教師のなかの非民主主義  
スガワラヤスマサ  
教師が小権力者でなくなるとき 石川充夫  
ぼくは“ただの”教師—続・教師が小権力者でなくなるとき 石川充夫  
生涯ヒラ教員 岡田進  
教師が落ちこぼれるとき—ヒラ教員のすずめ 榎忠男

おもしろい先生がいなくなった—こんな先生を子どもは大好き 斉藤君子

### III—若もの教師が教育を発見するとき

人ざらい教師が「ひと」ずきになって見る夢 福井正之◇⑥  
『ひと』に学んで、高校の授業を創る 福井正之◇⑥  
「落ちこぼす」教師からの脱皮 幅田竹義◇④  
にいちゃん先生の奮闘記 梅本澄雄◇④  
教育実践を発見する—「緑ひと塾」づくりの記 我妻清◇  
自分の実践をみかく—「若もの“ひと塾”」の2年間 木幡寛◇

### IV—母親として、教師として

「いのち」育てとしての教育 奥地圭子  
母親教師って、いいわよ 奥地圭子  
授業と生活のはざままで 鳥山敏子  
なんでそんなに忙しいの?—二人の女教師の場合 上野初枝  
育つということ、育てるということ—共働きの家庭で 東正子  
病気になるっても休めない教師 徳永啓子

### V—教員養成をどう変えるか

これでいいのか、教員養成 遠藤豊吉  
いたわりあうより楽しさを 城雄二  
教員養成大学で何を学んだか 友兼清治  
はじめての教員実習を終えて 千葉雅幸  
ある「道徳」の時間—教育実習生が投げかけた波紋 伊藤豊次◇  
学生が学生となるとき 横須賀薫  
教育実習生受け入れの記 芳賀直義◇

母親が教員採用試験に合格して 井上節子◇  
解説 宮沢望

## 26 父母は学校に何を期待するか

### I—父母と教師の教育論議

対談—騒然たる教育論議を—これからの教育をどうするか 長洲一二+遠藤豊吉  
親のはたらきかけが学校を変える—親からの教育論議 原田智恵子 ⑥  
人間は、教育は点数じゃない—生徒からの教育論議 本郷治子 ④  
M区教育基本計画にみる危険性—母親たちの学習をとらえて 服部茂子 ⑥  
(座)村のおやじさんの教育談話  
司会・戸塚康  
子どもと農作業と教育と 小林明 ④

### II—点数でわが子の能力は測れるのか

のろまは劣等生か 照井陽子 ⑥  
ボク、学校ではダメなの—通信簿ふみつけ事件 須田靖子 ⑥  
子どもたちよ、テストに負けるな 長島淳代 ⑥  
親が教育に眼をひらくとき—わが子の評価をめぐる 金子礼子 ⑥  
いちどもほめられたことがなかったSちゃん 八杉晴実  
人質とはなにか 遠山啓

### III—学校教育への苦言 I

欠陥教師に受け持たれて 皆川光子 ⑥

入学1年で知った教育のゆがみ 曾根幸子 ㊦  
 楽しい授業を 野上響子 ㊦  
 ある先生と生徒との3年間一気のあわいな  
 先生とじゃ、つらいな 佐藤由子 ㊦  
 「もの言わぬ生徒」になった 井口清子 ㊦  
 家庭と学校とどちらが民主的か 戸塚廉

#### IV—学校教育への苦言2

なぜ学用品をセットで売る？—学内販売の  
 方法に疑問をもって 永家光子 ㊦  
 スケート指導はうまい子のためのもの？  
 早川光子 ㊦  
 先生にやってほしくない“急所” 掛川悦子 ㊦  
 集団登校はなんのため？ 藤本葉子 ㊦  
 臨時講師はだれのため？ 藤本葉子 ㊦  
 なんのための制服？ しまゆうこ ㊦  
 うるわしい行為か、奇妙な慣習か—PTA  
 による転任先生の送り迎え 高木志づゑ ㊦  
 高校って、ヘンなところ 風間ゆり ㊦  
 どちらが狂っているの？—統・高校って、  
 ヘンなところ 風間ゆり ㊦

#### V—親と教師が手を結ぶために

親と教師はどうして手が結べないのか  
 大島千枝 ㊦  
 親と教師が共に考えて 三水比文 ㊦  
 先生のおよさをあげまして 糸井治子 ㊦  
 先生をあげます手紙作戦 糸井治子 ㊦  
 わが子が出会った「こそ」先生のこと  
 長谷部順子 ㊦  
 こんなおもしろい先生と出会った  
 萩原綾子 ㊦  
 子どもたちのあいだにかよった心と心  
 森本糾子 ㊦

ホンネを言って結びつく—親と教師の葛藤  
 を超えて 西沢紀生 ㊦  
 子どもの心をだいにするお母さんに！  
 西沢紀生 ㊦  
 親と教師は手をつなげる 山田暁生 ㊦  
 解説 永畑道子

## 27 お母さんの教育実践

### I—PTAで父母にながができるか

PTA、ほんとうはおもしろい 遠藤豊吉  
 手をつないで守った校庭 丹羽敬子 ㊦  
 賢い母親になるために 新原光子 ㊦  
 PTAを学びの場にする—女性会長の奮戦  
 記 原田智恵子 ㊦  
 学級PTAでのこの1年—わたしの失敗談  
 阿部昭子 ㊦  
 子ども自身の子ども会へ—PTA活動、そし  
 て廃品回収をめぐる 永家光子 ㊦  
 教育を変えていく父母たち 菊村さとし ㊦  
 子ども遊び場を求めて—校庭開放を実現  
 した母親たちの2年間の実践 早田敦子 ㊦

### II—お母さんの家庭塾づくりの実践

つまずいた子と二人三脚で 長谷部順子 ㊦  
 家庭で教えた算数—たし算・ひき算(1)  
 永家光子 ㊦  
 家庭で教えた算数—たし算・ひき算(2)  
 永家光子 ㊦  
 通信簿3以下の子、集まれ！—小さな家庭  
 塾での実践 岡田幸子 ㊦  
 お母さんの手で“子どもひと塾”を！

岡田進  
 親ではできないこと、親でなければできな  
 いこと 戸塚廉

### III—親と子の文庫づくり

ウーブ文庫のあゆみ 長谷川立子 ㊦  
 プレハブ文庫づくりの記 長谷川立子 ㊦  
 子どもこそ文庫づくりの主人公—「ひまわ  
 り文庫」の4年間と私(1) 徳村彰 ㊦  
 子どもに学んだ文庫づくりのあゆみ—「ひ  
 まわり文庫」の4年間と私(2) 徳村彰 ㊦  
 子どもこそわが最良の師—「ひまわり文庫」  
 の4年間と私(3) 徳村彰 ㊦  
 子ども仲間による結婚式 宮島郁子 ㊦  
 トランク劇場のたのしさ 松村弘子 ㊦

### IV—サークルづくり、私塾づくりの実践

市民運動としての教育運動 遠山啓  
 地域に教育サークルを芽ぶかせて  
 矢崎春彦 ㊦  
 おかあさんの私塾づくり運動 丹羽敬子 ㊦  
 母親が学び、授業をつくる—「母と子のさ  
 んすう教室」づくりの記  
 川戸峰子+木崎郁子+杉野千鶴子+瀬戸  
 山紘子+高城順子  
 母と子で学ぶ算数教室 原田智恵子 ㊦  
 子どもの発想が授業をつくる—新聞紙で10  
 アールの広さをつくる 原田智恵子 ㊦

### V—『ひと』をめぐる教育運動

見えない学校—「ひと塾」とはなにか  
 遠山啓  
 小さくとも持続した歩みを  
 —大島「ひとの会」 吉田澄江 ㊦

## 内容索引

- 自立した生き方を見つけるために  
—北九州「ひとの会」の歩み 入江敦子◇◎  
母親の環をひろげよう  
—かながわ「ひとの会」の4年間  
上野初枝◇◎  
解説 八杉晴実

## 28 親の生き方、子の育て方

### I—わが子に語る母の半生記

- ほんものの舞いにふれるまで 堆朱遙子 ◎  
働きながら舞いの手を習う 堆朱遙子 ◎  
大連の市に立つ(1) 堆朱遙子 ◎  
大連の市に立つ(2) 堆朱遙子 ◎  
大連の工場に働く 堆朱遙子 ◎  
家出と放浪のなかで 堆朱遙子 ◎  
家出と放浪の果てに 堆朱遙子 ◎  
閉ざされた社会 堆朱遙子 ◎  
施設からの脱出 堆朱遙子 ◎  
石もて打たれる青春 堆朱遙子 ◎  
挫折 堆朱遙子 ◎  
転換期に立って 堆朱遙子 ◎

### II—父親の子育ての記録

- 紀子の記録 山本正次 ◎  
息子の家出(上) 山本正次 ◎  
息子の家出(下) 山本正次 ◎  
真実—一路の旅をいく 尾形憲 ◎  
セガレを陶工にして 高山彦八 ◎

### III—母親の子育ての記録

- 子どもの授業拒否に眼を開かれる—遠山先

- 生をしのんで 森本糾子 ◎  
むすこと私の育ち合戦 山本武子 ◎  
さんすう二人旅 長島淳代◇◎  
ある母子の歩み—さんすう二人旅、その後  
長島淳代◇◎  
競争原理のはざま—私の子育て奮戦記  
須田靖子 ◎  
私をゆさぶった七つのことば 加藤茂代 ◎  
子育てのなかで自分をつくる 長谷川立子 ◎  
たっぷり子どもでいてほしい  
佐伯ルミ子 ◎  
切手事件始末記 大西和子 ◎

### IV—学び、教えあう母親たち

- 高校も出られなかった私—遠山啓さんとの  
往復書簡 板庇美代子+遠山啓 ◎  
生きることと、学ぶこと—『かけがえのない、この自分』と私 糸井治子 ◎  
数学なんてこわくない—母親さんすう教室  
に学ぶ5年間 難波順子◇◎  
「科学教室」の3年間—母親が学ぶ仮説実験  
授業 小林昭子◇◎  
ひとりのひととして生きる 曾田蕭子 ◎  
高校時代を生き、いまを生きる 曾田蕭子 ◎  
まったく不意に教師になって 曾田蕭子 ◎  
解説 森毅

## 29 幼児教育、遊び・マンガ

### I—自分たちの手で幼児教育を

- 小学校からみた幼児教育 遠藤豊吉 ◎  
幼児教室づくり 原田智恵子◇◎

- もっているちからをだしてみたら—幼児園  
づくりの記 小川明子◇◎  
(座)自分たちの手で、幼児教育を  
山本喜美+遠山啓+秋野勝紀+宅間美津  
子+森川寿未+原田智恵子+平林浩 ◎  
三人の子を幼稚園にかよわせて 井上節子 ◎  
子どもを安心してあずけられる学童保育に  
中野紀子◇  
学童保育に子どもをあずけて 中野紀子◇

### II—幼児の知恵と力をひきだす

- 子どもが知恵を獲得するとき—「くらべる」  
ということをめぐる 吉田永正◆◎  
イカダをつくって、乗る 吉田永正◆◎  
かぶを描く—育て、観察し、描いて、食べ  
る 吉田永正◆◎  
幼児がソバをつくる—栽培から調理まで  
遠山洋一◆◎  
幼いものたちとともに 高瀬慶子◇◎

### III—幼児のためのかな文字あそび

- 幼児のためのかな文字あそび 伊東信夫◆◎  
幼児のためのことばのおと遊び 伊東信夫◆◎

### IV—おもしろい子に育てよう

- “おもしろい子”に育てよう 遠山啓  
子ども、このおもしろいもの 遠藤豊吉  
いたずら教育学 戸塚廉◇  
子どもの広場 戸塚廉◇  
子どもは、おとなになっていく人である  
清原久元  
対談—感動よ、よみがえれ 安野光雅+遠藤豊吉

V—子どもと遊び

- 地域ぐるみの冒険あそび場づくり(上) 本田節子◇◎  
 地域ぐるみの冒険あそび場づくり(下) 本田節子◇◎  
 遊べない子どもたち 斉藤俊男+丹羽敬子 ◎  
 現代子ども残酷物語 伊東信夫 ◎  
 雪の日は校庭にでないように 伊藤睦子 ◎  
 雪合戦、雪だるま、もう、雪がなくなっちゃった 長沢弘明 ④  
 学校のいいぶん、子どものいいぶん 古川武晴 ◎  
 教師のなかにある無意識の管理主義 岡田進 ④  
 ドヤに生きる子どもたち 野本三吉

VI—子どもとマンガ

- 子どもとマンガ 遠山啓  
 なぜにマンガが 遠藤豊吉  
 テレビ・アニメとCM 宮島郁子 ◀  
 マンガで表現する若者たち 江藤邦彦 ◎  
 高校生のマンガ・イラスト集 文京高校マンガ研究会 ◎  
 マンガ、それは“文化”である 松下義一  
 マンガー一筋、30年 長井勝一  
 解説 伊東信夫

30 手づくり絵本、手づくり遊び

I—手づくり絵本への招待

『ジオジオのかんむり』—小学校2年生で

- の実践 松井幹夫◆④  
 絵本づくりの魅力 まついのりこ  
 人間のすばらしさを教えてくれた まついのりこ  
 未知のとびらをひらく—知識の絵本との出会 まついのりこ  
 自分でつくってみよう—つくりかた まついのりこ◇◎  
 子どもがつくる手づくり絵本—娘の体験をもとにして まついのりこ◇◎  
 製本のてびき まついのりこ◇◎

II—絵本づくりとおり紙の実践

- 絵本づくりに魅せられて—小学校2年生 「かさこ地ぞう」 斉藤君子◆④  
 先生を失業状態にする手づくり絵本 斉藤君子◆④  
 楽しい絵本づくり 大野智意子◆④  
 算数の手づくり絵本— $\frac{1}{2} + \frac{1}{3} = ?$  松井幹夫◆④  
 小学3年生のおりがみ先生 奥地圭子◆④  
 小学3年生のおりがみまつり 奥地圭子◆④  
 ウーフ文庫の折り紙先生 長谷川立子◇◎

III—手づくりおもちゃのつくり方

- おはなうさぎ 近藤ちづ子◇◎  
 紙皿のお面 近藤ちづ子◇◎  
 おひなさま 近藤ちづ子◇◎  
 変わり絵(1) 近藤ちづ子◇◎  
 変わり絵(2) 近藤ちづ子◇◎  
 かえる 近藤ちづ子◇◎  
 パラシュート 近藤ちづ子◇◎  
 ペロリくん 近藤ちづ子◇◎  
 もしもしかめよ 近藤ちづ子◇◎

- 玉のり人形 近藤ちづ子◇◎  
 クリスマスツリー 近藤ちづ子◇◎  
 見ざる・言わざる・聞かざる 近藤ちづ子◇◎  
 吹きあげボール 近藤ちづ子◇◎  
 マスコット人形 大谷直子◇◎  
 ビンチ・プーメラン 近藤ちづ子◇◎  
 スリコギトンボ 諏訪愛子◇◎  
 影絵 大谷直子◇◎

IV—伝承手づくり遊び1

—折り染め紙を使って遊ぶ

- 「折り染め紙」のつくり方 徳村彰◇◎  
 姉さましおり 徳村彰◇◎  
 ミニびな 徳村彰◇◎  
 折り染め人形 徳村彰◇◎  
 折り染めのタコ 徳村彰◇◎  
 ぱたぱたびょうぶ 徳村彰◇◎  
 和とじのノートとサイン帳 徳村杜紀子◇◎  
 たばこのたんす 徳村彰◇◎  
 玉手箱 徳村彰◇◎  
 びゅんびゅんごま 徳村彰◇◎  
 かさ 徳村彰◇◎  
 万華鏡 徳村彰◇◎

V—伝承手づくり遊び2

—飾って遊ぶ、使って遊ぶ

- ストロー・ペンダント 徳村彰◇◎  
 くす玉 徳村彰◇◎  
 風車 徳村彰◇◎  
 ビー玉の腰さげ 徳村彰◇◎  
 ストローのかご 徳村彰◇◎  
 割りばし鉄砲 徳村彰◇◎  
 割りばしマシンガン 徳村彰◇◎  
 はりがねてっぽう 徳村彰◇◎

はりがねの3輪車	徳村彰◇◎
やじろべえとはりがねのオウム	徳村彰◇◎
弓と矢	徳村彰◇◎
回転人形	徳村彰◇◎
バルサジェット機	徳村彰◇◎
でんぐりの花	徳村彰◇◎
紙ひもごま	徳村彰◇◎
紙ひもの馬	徳村杜紀子◇◎
遊びのいろいろ	戸塚廉
解説	まついのりこ+徳村彰

### 31 学級通信と学級づくり

#### I—なぜ学級通信をだすのか

子ども・父母・教師を変えるもの	西沢紀生◇④
いきいきしたいから	近藤貞巳◇④
『ひと』にゆさぶられて	小林光子◇④
母親がつくった「学級だより」	片倉幸子◇◎
親・子ども・教師のカキネを越えて—学級通信を武器に学級PTAづくり	木幡寛◇④

#### II—学級通信・かべ新聞と子どもたち

「科学かわら版」とボクと子どもたち	小原茂巳◇④
私の学級通信	
辻登志雄+西村寿雄+相馬美保+関本孝	
三+野田悦治	◇④④
学級通信は母親の宝もの	新藤美智子◇◎
好奇心のある子に育てたい	平林浩◇④
「からだかべ新聞」	村田一枝◇④

### III—子どもが生き生きする学級づくり

子ども新聞活動	奥地圭子◇④
給食の時間—班対抗リレーとくだもの皮むき	奥地圭子◇④
「子どもまつり」訪問記—手づくりの学級文化祭	長谷川立子◀◎
内言帳—教室寸描	奥地圭子◇④
いのちを考える—教室寸描	奥地圭子◇④
食べ放題の街—教室寸描	奥地圭子◇④
畳を教室に敷いてみたら—教室寸描	奥地圭子◇④
教室のなかのダンボールの家—教室寸描	奥地圭子◇④
読みきかせからの発展—教室寸描	奥地圭子◇④
みごとな切り絵の世界—教室寸描	奥地圭子◇④
足もとに土があった—教室寸描	奥地圭子◇④
子どもがつくる学級通信—教室寸描	奥地圭子◇④
ジャンヌ・ダルク—男と女のこと/教室寸描	水野直子◇④

### IV—文化活動と学級づくり

1年間でなにをしたか	奥地圭子◇④
集まれ! 1年ぼうず—入学式と学級びらき	西沢光子◇④
子どもの感動を育てる	松下義一◇④
なり君がそうらん節をおどりだした	斉藤君子◇④
子どもがなかまを再発見するとき	小原茂巳◇④
またやりたい学級文化祭	長谷川立子

学校はまちがうところ『野火グループ』  
解説 西沢紀生

## 32 学校づくり, 行事づくり

### I—子どもを主人公にする学校づくり

学校はどうあるべきか	遠山啓
子どもをたいせつにする学校	山本正次◇④
子どもと教師に自由な時間を—隔週5日制の試行まで	平林浩◇④
遠軽の家庭学校に学ぶ	西村寿雄◀
学校はだれのもの	上遠野運重 ④
てがみとスリッパ	野沢四郎
点数のない教育—明星学園に学んで	寺尾たか子 ④
新米校長の高校づくり記—京都・小学区制のなかで	鈴木集蔵◇◎

### II—管理のない中学校づくり

「義務教育」幻想よ, さようなら	森毅 ④
巨摩中学校の11年	久保島信保◇④
巨摩中学校の芸術教育	鈴木五郎◀④
こんな中学生活でいいの?—体育クラブ全員加入, 勉強するヒマもない	永家光子 ④
部活動って, なんだろう	
	茨木「小さなひと塾」 ④
いまは「がんばる」としか言えない	
	宇田川明子 ④
オレはゆっくりと生きる	照井伸也 ④
もう, どこへ行っても平気さ	原田実基夫 ④
「そんな教室作ろうやあ」	浦野幸夫 ④
生活指導という名の生徒狩り	西島ひで美 ④

親の弱さと、先生の弱さ 大原礼子 ㊦  
 なにが彼らをそうさせたか 長谷川立子 ㊦  
 オレだって字が読みたいールポ・夜間中学校 宮島郁子 ◀

### III—子ども本位の学校行事

日常の教育が結晶するとき—子どもと教師  
 と父母がつくる運動会 平林浩◊④  
 このすばらしい実行力—卒業記念に記念樹  
 を贈る 木村脩司◊④  
 たこあげ大会を学校でやった 坂内秀紀◊④  
 遠足論争 増山明夫 ㊦  
 学校行事に追いまわされて 榊忠男 ㊦  
 先生本位の学校行事 原田智恵子 ㊦  
 子ども本位の学校行事 大沢順子 ㊦

### IV—ほんとうの“ゆとり”ある教育とは

拝啓、文部省さま 遠藤豊吉  
 はたして「ゆとり」はあるのか 池ヶ谷春雄 ④  
 やらないことが「ゆとり」だった 遠藤勝 ④  
 「ゆとり」、その裏側をのぞいてみると  
 小俣軍平 ④  
 “ゆとりと充実”で先生も生徒もクタクタ  
 奥玲子  
 “ゆとりある教育”をとらえなおす 岡田進 ④  
 子どもを主人公にした学校づくり 平林浩◊④  
 解説 久保島信保

## 33 自立する若者たち

### I—学ぶこと・生きることへの旅立ち

自分の生き方を求めて—高校を中退し、み

ずから学ぶ 宮沢さかえ+宮沢ゆりか ㊦  
 自由な遊びの場を求めて—オープン・ス  
 ールの1年 佐藤由理恵 ㊦  
 仕事から学ぶ—中学を卒業して、理容師に  
 なる 広原貴美子 ㊦  
 数学に魅せられて—私の青春記 吉田一  
 ぶらり出かけた西アジアのバスの旅—デ  
 ーからイスタンブールまで 半田秀樹 ㊦

### II—文化活動にとりくむ若ものたち

大空への飛躍—熱気球を製作した高校生た  
 ちの記録 小川隆一+鈴木陽子◊④  
 “トランペット少年の死”を上演する  
 本多牧生◊④  
 脚本—トランペット少年の死  
 大阪・楠葉中学校3年4組  
 高校生の大パネル絵画製作 江藤邦彦◊④  
 演劇活動で心をひろかれる—一定時制高校の  
 紙芝居クラブ 菅龍一◊④

### III—“自分”を発見するために

17歳の私と絵と高校と 松井エイコ ㊦  
 劣等生の言い分 台野啓司 ㊦  
 いじめられっ子だったボクは教師になる  
 田中伸尚 ㊦  
 あたしの「イソップ物語」—受験と管理の  
 壁のなかで  
 磯貝由子（まえがき=森田良子） ㊦

### IV—働きながら学ぶ

わたしにとっての学校—33歳の夜間中学校  
 の独白 石田正義 ㊦  
 夜間中学から夜間高校へ 高桑春雄 ㊦  
 定時制高校から大学へ 高木順一 ㊦

私をダメにしない学校を求めて 石田次郎 ㊦  
 二十歳のほくよ、どこへいく—プレスをふ  
 むほくの生いたちの記 鈴木吏 ㊦  
 死にたくならないために、勉強する笠松一 ㊦  
 職場と学校  
 樋口安秀+小沢孝+野崎了+加藤拓夫 ㊦  
 志を育てる教育を 菅龍一◊④  
 定時制高校のすすめ 青山弘 ㊦  
 仕事と生活と教育と—労働者学習運動の経  
 験のなかから 今野武雄

### V—実録・夜間高校定時制

50の瞳との出会い 徳丸達也◊④  
 はじめての授業 徳丸達也◊④  
 人間とは何か—“火”の授業 徳丸達也◊④  
 肉くらの授業 徳丸達也◊④  
 熱唱「真夜中のギター」—一定時制・通信制  
 文化大会のこと 徳丸達也◊④  
 解説 土師政雄

## 34 若者たちの生活と意見

### I—受験の煉獄のなかで

名門大学で落ちこぼれて—新聞配達をして、  
 ほんとうに学ぶ 矢沢正春 ㊦  
 有名受験校での私の高校生活 都西わかな ㊦  
 エリート階段からころげ落ちて 渡部稲造 ㊦  
 さらば、マジメ受験生 上野俊哉 ㊦  
 東大—直線 吉田孝弘 ㊦

### II—学校・教師への疑問

先生はいつも正しいか 松井エイコ ㊦

学校って、なんなの？ 近藤光子 ㊦  
 先生がぼくらを死刑に…… 相馬美保 ㊦  
 ひとりでいった修学旅行 丹羽民夫 ㊦  
 理科授業、ポイコットの記 高浜忠二 ㊦  
 私たちを引きさいた教師たちへ―ニセ優等生から愛をこめて 桑島啓介 ㊦

### III―若ものはどこへいく

ぼくって、カラッポー学生相談の窓口から 鳴沢実  
 東大生製造術の秘密 伊藤悟 ㊦  
 ぼく自身のなかの危機感―いまの高校生の生活と意見 三田典玄 ㊦  
 マンガーオレたちの高校生活 平井晋二 ◀  
 右翼にほれた私の青春―15歳の右翼少女の証言  
 まえがき・遠藤豊吉+まとも・編集部 ㊦  
 “いま”という時代をどう生きるか 宇井純

### IV―ともに登校拒否をのりこえて1

ユーちゃんは、どうして無表情になったのか 松井エイコ ㊦  
 自分を語りはじめる 松井エイコ ㊦  
 絵をかくことに自信を発見する 松井エイコ ㊦  
 自分らしさに自信をもつこと 松井エイコ ㊦  
 劣等感とのたたかい 松井エイコ ㊦

### V―ともに登校拒否をのりこえて2

未来を夢みるころ 松井エイコ ㊦  
 先生の仕事って、なんなの？ 松井エイコ ㊦  
 “留年”する決意 松井エイコ ㊦  
 学校を見返したいノ 松井エイコ ㊦  
 自分を発見する 松井エイコ ㊦

解説 銀林浩 佐田智子

## 35 子どもの自殺・非行

### I―“非行”の原因はなにか

非行って、なんだ？ 遠山啓  
 教育における“狂気”と“正気”―一困ると頭が痛くなる病気 伊藤友直  
 “迷走世代”のなかの子どもと教師 荻野祥三 ◀  
 病む子だけを鞭うたないで 糸井治子 ㊦  
 父、母の生き方が問われている 斎藤茂男  
 家庭崩壊をどこで断ち切るか―横浜・寿町の親子関係 野本三吉  
 子どもにかわって親にのぞみたいこと―相談室の窓口から 江幡玲子  
 学校ファシズムと“非校”生徒 森毅

### II―“非行”のなかで揺れる子どもたち

あたりまえの中学生のなかの“非行”―子どもは変貌する 宮沢望 ㊦  
 日常の子どもの中の異常―子どもは変貌する 東孝二 ㊦  
 なにをやりたいのだ！ きみたちは―いま、中学生たちは 河野順 ㊦  
 私自身と娘の体験から―非行ってなんだ 堆朱遙子 ㊦  
 子どもを非行に導くもの 東正子 ㊦  
 また、非行件事が起こって 長谷川立子 ㊦  
 もうひとつのサタデー・ナイト・フィーバー―暴走族の若者たち 樹田武宗 ◀  
 中学生売春―古典的売春と自主売春

### III―“非行”少年とのとりくみ

非行少年の一断面―少年鑑別所職員をつぶやき 松永浩文 ◊  
 少年院での数学指導記 松永浩文 ◊  
 少年保護のしくみについて 金山日出夫  
 「少年法」ってなんなのサ 宮島郁子 ㊦  
 “非行”をつくりあげるものはなにか―少年法「改悪」を考える 浅川道雄

### IV―受験体制と自殺・“非行”

あまりにも早い子どもたちの挫折―有名中学校受験に失敗した優等生の非行 坂下真規子 ㊦  
 学友が殺されて―高校生は語る 高井鉄夫+太田裕一+芝山透+前田康則 ㊦  
 友だちは敵か―中学生による殺人 樹田武宗 ◀  
 むすこは首にひもをまいて…… 風間ゆり ㊦  
 15歳の死―生徒の自殺に直面して 宮前節子 ㊦  
 非行としらけムードのなかで―非行をうむ受験体制と管理主義 相馬美保 ㊦  
 中学校から教育が奪われていく 宮沢望 ㊦  
 解説 永畑道子

## 36 登校拒否・校内暴力

### I―“落ちこぼれ”って、なんだ

「落ちこぼれ」とは 遠山啓  
 学校不適応児だった私 遠山啓  
 無表情な子どもたち 八杉晴実 ◊



学校が私にもたらしたもの

宮沢さかえ＋佐々川仁美＋江原忠男＋飯

島寿一＋平栗浩二＋衣笠純

学

“学校にきらわれた子”の自信を回復する

神忠男◇⊕

## II—登校拒否をどうのり超えるか

学校をこぼんだらとともに

渡辺位

学校がこわい

上野初枝◀⊙

登校拒否の渦中で

宮島郁子◀

親子ともども登校拒否

嶋田喜四郎 ㊟

登校拒否の生徒とともに

斎藤央 ⊕

登校拒否は子どもの権利

村松英夫 学

わが子も登校拒否になる

真坂智世 ㊟

生徒に登校拒否されて

山根忠雄 ⊙

先生との葛藤を超えて

斎藤美智子 ㊟

娘の登校拒否をのりこえて

村田三枝子 ㊟

息子に起こったこと—高校中退・旅立ち

尾上圭子 ㊟

## III—いじめっ子・いじめられっ子

何がいじめっ子をかりたてたか

長妻治子 ㊟

いじめられる子の母親は訴える—NHKテ

レビ番組への反響から

川上広文◀

いじめられるやつは死んでしまえ

金賛汀◀

卒業するまでガマンしなさい!

金賛汀◀

娘はこうして級友にいじめられた—中学1

年生

下岡陽子 ㊟

## IV—校内暴力の原因と、そのとりくみ

なぜ、中学生は“荒れる”のか—その真の

原因

神忠男 ⊕

校内暴力の渦中で—なぐられて考えたこと

大橋照夫 ⊕

生徒を追いつめたものは何か—生徒を警察

に告発した学校

三木賢治◀⊕

中学生の反乱

有賀幹人◀

オレたちのことはどうでもいいのか—暴行

事件をおこした生徒へのインタビュー

榊田武宗◀

中学校のヘイのなかで

伊藤圭一 学

(座)受験・管理・非行との格闘—中学校教

師のホンネを語る⊕

村山栄二＋岡部利彦＋原田則子＋茂木修

一＋木原恵津子

⊕

(座)荒れる中学生に人間としてかかわる—

中学校教師のホンネを語る⊕

村山栄二＋岡部利彦＋原田則子＋茂木修

一＋木原恵津子

⊕

解説

神忠男

# 37 子どもの人権と管理

## I—冷たい管理主義

冷たい管理主義

鶴見俊輔

なぜ、みんなおなじ服装にするの?

いのうえせつこ ㊟

私たちに問われているもの

田中幸子 ㊟

元警察官が教育の場に登場—いま、横浜で

は

いのうえせつこ ㊟

母親としての危機感

小尾芳枝 ㊟

オヤクソクという名のキマリ

管理はつづくよ、どこまでも

管理されるものが管理する

遠藤豊吉

小俣軍平

宮前節子

## II—管理体制のなかの子どもたち

管理という名の暴力—“きまり”が優先す

る学校

福田辰雄 ⊙

子ども管理の日常

木更津「ひとの会」＋奥田暎子 ㊟

ある中学校の生徒手帳から—生活のきまり

許せない、「問題児」行動リスト 五藤久枝

子どもの人権って、なんだ—「問題児」リ

スト、人物総評をめぐって 若杉次郎

“非行”への予断と偏見—「問題性予測検査」

とは 岩田元子 ㊟

“熱中高校”って、なんだ—愛知・東郷高校

内藤朝雄 学

生徒管理は教育か—NHK「素顔の中学教師」

取材ノート 竹内実◀⊕

総背番号制教育⊕ 勝屋憲二◀⊙

総背番号制教育⊕ 勝屋憲二◀⊙

## III—管理体制のなかの教師

ああ、この管理体制! 「野火」編集部編 ⊙

笑い話のようなこの現実「野火」グループ ⊙

教師社会の病根は深い—主任制度化で思う

宮沢望 ⊕

校長さん、なんば考えちよっと

斉藤香代子 ⊙

教室は教頭のためのものか 池ヶ谷春雄 ⊙

せめて、先生を苦しめない研修会に

西村寿雄

素顔の中学教師—NHK「おほよう広場」

アンケートから 宮本徹◀

教師の苦悩、親の期待—NHK番組「素顔

の中学教師」をめぐって 二村担孝◀

ルポー“君が代”ジャズふう演奏事件

北九州「ひとの会」◀㊦  
ルポー「君が代事件」処分、その後  
北九州「ひとの会」◀㊦

#### IV—子どもの人権を守るために

教育とは子どもの人権を守り、育てること  
兼子仁  
学校の規則に反対したむすこの記録—たつ  
たひとりの長髪 多久寿満子 ㊦  
ぼく、髪を切らないぞ！ 則松直樹 ㊦  
恐ろしい話—一致団結，全員坊主に  
則松直樹 ㊦  
きまりを変えた学校 植原美枝子◊㊦  
“走らされる”ことから“走ること”へ  
山本正次◊㊦  
勇気ある生徒を育てたい—生徒会役員選挙  
をめぐる 相馬美保◊㊦  
強制はしません、例外は認めません—な  
ぜ、ヘルメットをかぶるのか 淡川典子◊㊦  
番号制ゼッケンはヤッパあかんやんか闘争  
二宮武子◊㊦  
人間やったら、ゼッケンいらん 二宮武子◊㊦  
解説 齋藤茂男

### 38 ドキュメント・人間と教育

#### I—なぜ、少年は死に急ぐのか

なぜ、少年は死に急ぐのか 齋藤茂男◀  
トランペット少年の死—富山の選別体制の  
なかで 齋藤茂男◀  
学校を見おろす松の木のある丘で—岐阜の  
“教育正常化”の傷跡 齋藤茂男◀

学歴社会の栄光とは何か 齋藤茂男◀

#### II—子どもを減ぼすものを 追いつめたい

子どもを減ぼすものを追いつめたい—新し  
い取材への提案 齋藤茂男◀  
教育とは管理すること—愛媛の“正常化”  
教育 齋藤茂男◀  
教師集団がくずれ去ったあとに一栃木県の  
教育現場を歩く 齋藤茂男◀  
ここに教育がある—岩手の僻村 齋藤茂男◀  
かつての軍団少年の戦後30年 齋藤茂男◀  
ここにも子どもとともに生きる教師がいる  
—愛媛の“正常化”教育 齋藤茂男◀

#### III—高度成長のツメあと

高度成長のツメあと—親の蒸発・非行・登  
校拒否・自殺 齋藤茂男◀  
少年はなにを殺したか—受験高校生生の刺  
殺事件・取材ノート 土本典昭◀  
ベルトコンベアの青春—資本と教育のはざ  
まで 齋藤茂男◀  
夜の子どもたち—“非行”少年・少女/取  
材旅行から 齋藤茂男◀

#### IV—外国の教育事情と日本

西ドイツ公教育の危機 子安美知子◀  
シュタイナー学校に娘を学ばせて—ふたた  
びミュンヘンから 子安美知子◀  
西ドイツで子どもを育てて 小林裕子◀  
飢えた子どもたち—かいま見たインド  
石田甚太郎◀  
訪中感想記—中日の教育交流をめざして・  
前編 奥地圭子◀

訪中感想記—中日の教育交流をめざして・  
後編 奥地圭子◀  
海外から日本の子どもを見て 遠藤豊吉◀  
解説 遠藤豊吉

### 別巻 遠山啓、その人と仕事

#### I—1979年の日記

1979年の日記—死の1週間まえまで 遠山啓

#### II—先生との対話①

ほんとうの師とは 堀正雄  
流れに立ちふさがって 関根紀子  
母親の算数塾づくり 山口俊子  
わが家族の“水源” 成瀬邦子  
心にのこる1冊の本 安達郁雄  
救いを求めて 伊藤さち  
生きる確信 下鳥明子  
“親”に眼を開かれる 上野俊哉  
私のすてきな体験 樋川裕子  
静かに説く 徳永吉晴  
ひとりでの対話 松村弘子  
先生をしるんで 奈良清利  
かけがえのない人 小寺平治  
不思議なご縁 宮沢望

#### III—その全体像

この欠落 藤田省三  
遠山啓さんのこと 吉本隆明  
30年前 齋藤利弥  
教育運動のなかで 森毅  
「ひと」創刊以後 遠藤豊吉

IV一学問・芸術の世界

神曲	安野光雅
静かな語り口のなかに「数学入門」との出会い	粟津潔
遠山啓と文学・芸術	大岡信
ゲーテとバルザックにふれて	井上正蔵
ブレイクをめぐる	寿岳文章
思い出のなかの芸術論	園部三郎
科学教育と芸術教育	波多野完治
経済学への直観	伊東光晴
文学・哲学・音楽	早川康弐
計算と視覚化と	清水達雄
量の体系について	今野武雄
遠山啓先生の偉大さ	星野芳郎

V一先生との対話②

天上の人・遠山さんへー元「非行」少年から	福岡靖史
精神の糧	荒木千歳
学問をとおして完成された人	片平健二
遠山先生に導かれて	入江敦子
喜劇味のある教師へ	植田博資
その衝撃	則松和恵
「数楽」を知る	則松直樹
息子とともに学ぶ	高階糸子
書物での出会い	渡辺良子
著書を先生の心として	中野利雄
笑いの心を忘れずに	吉田澄江
塾を開き、数学を教える	松浦のぼる
清らかな雪のなかで	加野昭
先生からいただいた宿題	妹尾公子
水道方式をたいせつに守りたい	横山まさ子
たびたび紹介されて	やないトシヒロ

一生、忘れないこと 高木志づゑ

VI一その仕事の軌跡

人生の師であった遠山さん	銀林浩
教師として生きるよろこび	斉藤君子
日本の教育史に永遠に	牧野金太郎
ぼくら若者は、いつも遠山先生と	木幡寛
いたずらっぽい先生の思い出	多久龍太郎
やさしさへの哀惜	榑忠男
遠山先生の拓いた道を歩く	川太孝子
家永教科書裁判と遠山啓	家永三郎
遠山先生哀悼	日高六郎
一人ひとりの学習権を保障するために	金沢嘉市
革命的フモールーわずかに障害児教育のことに	津田道夫
ふれて	山住正己
遠山さんの教育学への注文と期待	山住正己
序列主義とのたたかいーみずからの生を考え	佐田智子
せられる	小島靖子
抵抗しつづける	松井幹夫
授業が好きだった遠山さん	遠藤豊
遠山先生と明星学園	尾形憲
新しい学校づくりをめざす	石黒得一
雪中分校見学記	久保田文作
山の分校視察にいられて	久保島信保
遠山啓先生と巨摩中の教育	はぐれ弟子としてー遠山啓先生と代々木ゼミ
はぐれ弟子としてー遠山啓先生と代々木ゼミ	土師政雄
「数楽」への大きな挑戦	小笠毅
ぼくたちを見つめていてください	原田智恵子
ー遠山塾のこと	小尾芳枝
私にとっての「親鸞」	長谷川立子
わたしの自己脱皮	岡田進
「量と水道方式」に生きる	

母親にとっての道しるべ	宮島郁子
ユーモア精神	山本正次
先生への手紙	亀井瑞世
「ひと」創刊に参加して	戸塚廉
母親こそ教育者	上野初枝
拓かれた道を見失わないで	平林浩
「乱声」を吹く	糸井治子

VII一人として

父のこと	長谷部順子
遠山啓のはらかな領野	奥野健男
一風変わった風格の持主ー府立一中時代	牛場信彦
わが友・遠山啓ー福岡高校のころ	永吉吾郎
真に幸福な男ー高校時代の友人として	南幸治
初期の遠山研究室	丸山滋弥
友として、主治医として	植村敏彦

VIII一年譜、全著作への招待

年譜・一数楽者の肖像ー遠山啓の軌跡	遠山啓+松田信行+遠藤豊
全著作目録、主要著作への招待ー全著作目録	松田信行
「無限と連続」	森毅
「新しい数学教室」	黒田孝郎
「みんなのさんすう」「わかるさんすう」	野沢茂
「数学入門」	小沢健一
「教師のための数学入門」	石川充夫
「数学教育ノート」	小沢健一
「微分と積分」	江藤邦彦
「さんすうだいすき」「算数の探険」「数学の広場」	榑忠男
「かけがえのない、この自分」「いかに生き、いかに学ぶか」	小尾芳枝



# 著者別索引

●—600名の執筆者が  
現代の教育問題の  
解決に迫る!

●—著者別索引の使い方  
[現代教育実践文庫]に執筆している  
すべての著者を五十音順にならべ、右側の  
丸中数字で、その執筆巻を示した。  
例…伊東信夫—6⑩⑳  
伊東信夫の執筆している巻は、目次(=  
巻名一覧)によって、6巻『障害者の自

立と教育』、10巻『漢字の学び方・教え方』、  
29巻『幼児教育、遊び・マンガ』である  
ことがわかる。さらに内容索引を引くと、  
たとえば、6巻では、III章で「自閉症児  
K君のこと」、IV章で「自閉症児ケンちゃん  
の成長の記録」を執筆していることが  
わかる。

## あ行

### あ

阿原成光—21  
阿部昭子—27  
淡川典子—37  
青柳良子—5  
青山弘—33  
赤坂美智子—21  
赤嶺とみ子—22  
秋山玲子—6  
秋野勝紀—29  
浅川道雄—35  
東孝二—35  
東正子—25③⑤  
安高純代—20  
安達郁雄—別  
安野光雅—2②⑨別  
新井恵美子—24  
荒井フミ子—6  
荒木千歳—別  
有賀幹人—36  
栗津潔—別

### い

いぬいとみこ—8  
伊藤さち—別  
伊藤圭—36  
伊藤友宣—35  
伊藤悟—24  
伊藤睦子—29  
伊藤豊次—25  
伊藤隆二—1  
伊東信夫—6⑩⑳  
伊藤守—25  
伊東光晴—別  
伊神幸雄—13  
伊部篤—5  
井口清子—26  
井尻正二—17  
井出村由江—9  
井手靖子—9⑩  
井上節子—4②⑤⑳  
37  
井上フミ子—22  
井上晴美—22  
井上正蔵—別  
飯島寿—36

飯田敏—17  
家田光祥—16②②  
家永三郎—24別  
池上順子—3  
池ヶ谷互枝—8  
池ヶ谷春雄—32③⑦  
諫元正枝—18  
石川充夫—7⑨⑪  
12②⑤別  
石川愛子—23  
石田次郎—33  
石田甚太郎—38  
石田正義—33  
石黒得一—別  
石津定雄—24  
磯貝由子—33  
糸井治子—3④⑦  
26③⑤別  
糸山立一—1⑦  
板庇美代子—28  
一瀬清—17⑮  
市丸誠—7  
伍井一夫—15  
犬塚清和—7⑮  
今西祐行—8

今村昌平—2  
入江敦子—13②④⑦  
別  
岩田元子—37  
茨木「小さなひと塾」  
—32

### う

宇井純—24  
宇井真智子—14  
宇田川明子—32  
上田芳子—6  
上野俊哉—19④⑨別  
上野初枝—8⑨⑫  
23④⑥⑦③⑥別  
植田博資—18別  
植村敏彦—別  
牛場信彦—別  
内池多賀—5  
梅村能子—21  
梅本澄雄—17⑮⑳  
浦野幸夫—32

### え

江藤邦彦—3⑬⑳

③⑩別  
江藤美代子—21  
江幡玲子—35  
江原忠男—36  
江本清弘—21  
遠藤豊吉—2④⑦  
8⑨⑩⑬⑫④②⑤  
26⑦⑨⑫③④⑦③⑧別  
遠藤勝—32  
遠藤豊—1②⑦  
⑩⑩別

### お

尾形憲—2⑥⑧別  
尾上圭子—36  
尾崎盛光—2③  
小笠毅—別  
小川信夫—19  
小川隆—33  
小川明子—29  
小崎光子—23  
小沢健—別  
小沢孝—33  
小沢牧子—18  
小野洋—20

## 著者別索引

小野 繁——20  
小野慶子——4  
小野田三男——14  
小原茂巳——4⑦⑩  
小尾芳枝——2③⑫  
別  
小俣軍平——5⑥⑫  
37  
大岡 信——2別  
大沢順子——⑫  
大島千枝——5⑫  
大田 堯——1②③  
4  
大谷直子——30  
大友 昭——7⑬  
大西和子——28  
大西幸子——12  
大野智意子——12⑩  
大橋照夫——36  
大原礼子——32  
大森好子——12  
大寄英夫——23  
太田裕一——35  
扇谷正造——2  
岡田五百子——5  
岡田幸子——27  
岡田 進——10⑪⑫  
24⑫⑬⑭⑮⑯  
岡部利彦——36  
荻野祥三——2⑫⑮  
荻原陽子——4  
荻原幸助——6

奥 玲子——32  
奥田暁子——37  
奥田公喜——10  
奥地圭子——4⑬⑰  
22⑮⑳㉑㉒  
奥野健男——別  
奥山時子——25  
落合裕子——6

### か行

#### か

加藤真代——23  
加藤 学——2  
加藤茂代——28  
加藤光三——8  
加野 昭——別  
加藤拓夫——33  
香川節子——9  
掛川悦子——9⑫  
笠松 一——33  
風間ゆり——26⑳  
梶原政子——8  
片倉幸子——31  
片平健二——別  
勝木 渥——14⑭  
勝屋憲二——37  
兼子 仁——37  
兼次京子——22  
上遠野運重——32  
龜松吉昭——3

龜村五郎——8  
茅 哲——21  
金井郁夫——4  
金子礼子——22⑫  
金子秀敏——3  
金沢嘉市——別  
金山日出夫——35  
亀井瑞世——別  
唐井永津子——6  
川上広文——36  
川瀬よし子——3  
川太孝子——8  
川戸峰子——27  
河原一男——5  
河合和美——13  
要倉大三——5  
川西南中1年生——22

#### き

木崎郁子——27  
木原恵津子——36  
木村脩司——32  
菊池 淨——18⑳  
菊間猪三——6  
菊村さとし——27  
岸崎孝弘——7  
北村小夜——5  
衣笠 純——36  
絹川久子——18  
清原久元——8⑳  
金 賛汀——36  
銀林 浩——11⑭別

木更津「ひとの会」  
——37  
北九州「ひとの会」  
——37

#### く

久保田文作——11別  
久保島信保——18⑬⑳  
黒田孝郎——別  
黒田俊郎——13  
桑島啓介——24  
楠葉南中学校3年4  
組——33

#### け

見城次子——3

#### こ

小泉貞彦——23  
小久保昇治——20  
小島靖子——5⑥別  
小寺平治——3別  
小西リツ子——24  
小林 明——26  
小林裕子——33  
小林富江——16  
小林昭子——14⑳  
小林光子——31  
小宮カツ子——6  
小山一子——3  
高 史明——1②  
五藤久枝——37

五味 洋——22  
木幡 寛——1⑦⑧  
13⑬⑰⑮⑳㉑別  
子安美知子——38  
駒沢久子——16  
河野浩士——17⑳  
河野 順——35  
近藤貞巳——16⑰⑳  
近藤ちづ子——30  
近藤光子——34  
今野武雄——33別  
今野 勉——2  
後藤真知子——18  
公 明 党——2

### さ行

#### さ

三水比文——26  
佐伯ルミ子——9⑳  
佐々川仁美——36  
佐々木元禧——3  
佐田智子——2⑮別  
佐藤圭司——14  
佐藤美枝子——18  
佐藤由理恵——33  
佐藤由子——26  
佐藤都茂子——12  
佐藤愛子——20  
斉藤香代子——37  
斉藤俊男——29

斎藤君子—21 25 30  
31 別

斎藤 央—21 36

斎藤茂男—2 35 38

斎藤美智子—36

斎藤利弥—別

坂下真規子—35

榊 忠男—3 13 25  
32 36 別

桜井 元—17

里見 実—16

沢辺与夫—20

澤地久枝—22

し

しまゆうこ—26

塩沢孝子—21

重弘忠晴—7

重政文三郎—24

品田孝子—12 別

芝山 透—35

柴田 昶春—22

柴田清子—18

渋沢重和—2

嶋田喜四郎—36

嶋中アキ—3

島村孝子—22

清水みちこ—3

清水達雄—別

下岡陽子—35

下鳥明子—別

白井将文—2

白銀一則—18

城耕太郎—4

城 雄二—15 23 25

新藤美智子—31

寿岳文章—別

自由民主党—2

す

須田靖子—26 28

須永和久—2

諏訪愛子—30

菅 龍—33

菅 哲—1 7

菅原恭正—25

杉野千鶴子—27

鈴木昌子—14

鈴木由紀子—18

鈴木集蔵—3 32

鈴木敏英—5

鈴木五郎—1 19 32

鈴木武樹—21

鈴木孝枝—22

鈴木美子—9

鈴木 吏—33

鈴木陽子—33

せ

瀬崎睦子—9

瀬戸山紘子—27

関根紀子—別

関本孝三—31

妹尾公子—別

そ

曾田蕭子—28

曾根幸子—26

蘇どうたろう—34

相馬美保—31 34 35

37

園部三郎—19 別

た行

た

多久龍太郎—12 18 22

別

多久寿満子—37

田島文明—4 12

田中かほる—12

田中 裕—17

田中良太—3

田中幸子—24 37

田中伸尚—33

高木順一—33

高田清香—18

高木志づゑ—18 26 別

高野憲子—24

高瀬慶子—29

高井鉄夫—35

高橋留治—22

高橋昌子—22

高橋キヨ子—6

高橋 徹—6

高橋豊子—6

高浜忠二—34

高山彦八—28

高桑春雄—33

高階糸子—別

高城順子—27

台野啓司—33

宅間美津子—29

竹内直一—23

竹内 実—17

竹内敏晴—20

竹内保子—22

竹田美紀子—23

武田文也—2

武内貴恵子—23

立原えりか—8

ち

千葉雅幸—25

中学2年生・四人の

女子グループ—21

つ

つるまきさちこ—20

津久井憲司—14

津田道夫—別

津田幸利—21

堆朱遙子—28

辻 潤治—24

辻登志雄—35

辻 裕—3

土本典昭—38

鶴見俊輔—2 37

て

手塚ひろし—3

寺尾たか子—32

寺崎和憲—9

照井伸也—32

照井陽子—26

照屋寛清—22

と

戸塚 廉—26 27 29

30 別

都西わかかな—34

外山滋比古—8

東宮哲哉—2

遠山 啓—1 2 3

4 5 7 8 10 11 12 18

19 21 22 24 25 26 27 28

29 32 35 36 別

遠山洋一—29

藤堂明保—10

徳永啓子—25

徳永吉晴—別

徳丸達也—17 33

徳村 彰—27 30

徳村杜紀子—30

富浦昭子—14

友兼清治—25

友田陽子—22

友淵洋司—22

鳥山敏子—16 17 25

な行

な

- 名倉 弘——⑦  
 奈良清利——⑱別  
 奈良靖子——⑳  
 内藤朝雄——⑳  
 中井静夫——⑮  
 中島孝一——⑳  
 中野利雄——別  
 中野紀子——㉑  
 中原まき——㉒  
 中原克巳——③  
 中森政郎——⑦⑳  
 仲島純一郎——㉒  
 永井道雄——②  
 永家光子——㉒⑳⑳  
 ⑳⑳  
 永畑道子——⑳⑳  
 永吉吾郎——別  
 長井勝一——㉑  
 長沢弘明——㉑  
 長島淳代——⑳⑳  
 長妻治子——⑳  
 長洲一二——⑳  
 鍋谷総子——⑪  
 並木正義——㉑  
 鳴沢 実——⑳  
 成瀬邦子——③別  
 難波順子——⑳

に

- 二宮武子——⑳  
 二村坦孝——⑳  
 新居信正——④⑫⑳  
 新原光子——㉑  
 西沢光子——⑧⑨⑳  
 西沢紀生——⑳⑳⑳  
 西谷亀之——⑮  
 西村寿雄——④⑳⑳  
 ⑳  
 西島ひで美——⑳  
 丹羽敬子——㉑㉒  
 丹羽民夫——⑳  
 日本共産党——②  
 日本社会党——②

ね

- 根上侑子——㉑

の

- 野上響子——⑳  
 野崎 了——⑳  
 野沢 茂——別  
 野沢四郎——⑳  
 野田悦治——⑳  
 野名龍二——⑧  
 野村みどり——⑤  
 野本三吉——⑳⑳  
 野呂重雄——①  
 則松直樹——⑳別  
 則松和恵——⑨別

- 法島隆志——⑱  
 野火グループ——⑳⑳

は行

は

- 芳我トシエ——⑭  
 芳賀雅尋——⑤  
 芳賀直義——⑳  
 萩原綾子——⑳  
 土師政雄——②③⑳  
 別  
 波多野完治——別  
 秦 英——⑳  
 島中美子——⑳  
 服部勝彦——①  
 埴原美枝子——⑦⑱⑳  
 幅田竹義——⑳  
 長谷川立子——②④⑫  
 ⑳⑳⑳⑳⑳⑳⑳  
 ⑳別  
 長谷川四郎——②  
 長谷部順子——⑳⑳別  
 服部茂子——⑳  
 早川史子——⑳  
 早川康弼——別  
 早田敦子——㉑  
 林 竹二——⑦  
 原口好博——⑱  
 原田実基夫——①⑦⑳  
 原田智恵子——②⑥⑨

- ⑬⑳⑳⑳⑳別  
 原田三朗——③  
 原田則子——⑳  
 半沢 健——⑤  
 半田秀樹——⑳  
 坂内秀紀——⑳  
 八王子養護学校——⑤

ひ

- 日高六郎——②⑳別  
 日比野満——㉑  
 樋川裕子——別  
 樋口安秀——⑳  
 平井晋二——⑳  
 平栗浩二——⑳  
 平野正美——⑳  
 平原 弘——⑧  
 平林宏美——⑳  
 平林 浩——④⑤⑦  
 ⑭⑮⑯⑰⑱⑳⑳別  
 広原貴美子——⑳

ふ

- 深谷昌志——②  
 福井正之——⑳  
 福岡靖史——㉑別  
 福田辰雄——⑳  
 福富美津代——㉑  
 藤田節子——⑳  
 藤田省三——別  
 藤村紀夫——⑳  
 藤本葉子——⑳

- 古川武晴——㉑  
 文京高校マンガ研究会——㉑

ほ

- 保坂治男——⑱⑳  
 星野芳郎——別  
 星野亮三——⑱  
 堀 正雄——別  
 堀井洋子——⑳  
 堀江晴美——⑱⑳  
 堀江邦昭——④⑳  
 堀川三郎——⑦  
 堀川譲二——⑦  
 堀沢敏雄——⑤  
 本郷治子——⑳  
 本多牧生——③⑳  
 本田節子——㉑  
 本郷三郎——③

ま行

ま

- 間宮芳生——⑱  
 真坂智世——⑳  
 真下慶子——⑭  
 前田康則——⑳  
 牧野金太郎——別  
 槇枝元文——②  
 正木健雄——㉑  
 増島高敬——③



増田忠之——12  
 増田美穂——①  
 増山明夫——32  
 榊田武宗——35 36  
 まついのりこ——22 30  
 松井エイコ——33 34  
 松井幹夫——① 4 12  
     22 25 30 別  
 松浦のぼる——別  
 松尾美味子——④  
 松岡裕美——①  
 松金進——⑧ 9  
 松下義——29 31  
 松田徳一郎——21  
 松田信行——別  
 松永浩文——35  
 松村弘子——27 別  
 松本キミ子——⑥  
 丸木政臣——15 22  
 丸山滋弥——別

み

三木賢治——36  
 三田典玄——22 34  
 三井絹子——⑥  
 三善晃——⑦  
 水野直子——31

溝口淳子——22  
 皆川光子——26  
 南幸治——別  
 峰幾子——④  
 宮城まり子——⑥  
 宮口しづえ——⑧  
 宮口正子——⑨  
 宮沢さかえ——33 35  
 宮沢ゆりか——33  
 宮沢望——② 13 22  
     23 24 25 35 37 別  
 宮下久夫——10  
 宮島郁子——⑨ 18 23  
     24 27 29 32 35 36 別  
 宮前節子——37  
 宮本徹——37  
 宮本敏雄——12 別  
 宮本香織——21  
 民社党——②

む

無着成恭——⑦ 8  
 村木良彦——②  
 村田直文——③  
 村田尚子——20  
 村田一枝——31  
 村田三枝子——36

村松英夫——36  
 村山栄二——36  
 向山洋——20

も

茂木修——36  
 毛利子来——23  
 望月継治——23  
 森毅——② 3 21  
     28 32 35 別  
 森知子——22  
 森啓之——④  
 森みちこ——⑥  
 森川寿末——29  
 森河貞子——17  
 森口豁——24  
 森田良子——33  
 森本糾子——26 38  
 森山四郎——24

や行

や

やないトシヒロ——別  
 矢崎春彦——27  
 矢沢正春——34

八杉晴実——26 27 36  
 柳沢文正——23  
 柳田和伴——14  
 山浦敬子——19  
 山口俊子——別  
 山崎美恵子——18  
 山住正己——24 別  
 山田暁生——26  
 山田真——23  
 山田真——23  
 山田満子——⑥  
 山寺恭子——21  
 山根忠雄——36  
 山本喜美——29  
 山本武子——28  
 山本正次——⑦ 8 14  
     22 24 25 28 32 37 別  
 山本小英——⑨  
 山本淳子——⑨

よ

依田節夫——① 7 20  
 吉田六太郎——24  
 吉田澄江——⑨ 27 別  
 吉田永正——29  
 吉田俊——⑧  
 吉田——33

吉田孝弘——34  
 吉村七郎——23  
 吉本隆明——別  
 横川和夫——②  
 横須賀薫——25  
 横森以佐武——⑨  
 横森喜鴻——19  
 横森サチ子——⑨ 19  
 横山まさ子——別  
 米内幸——12  
 米山みゆき——19

わ

若木久造——16 17 18  
     22  
 若杉次郎——37  
 我妻清——25  
 渡辺隆——17  
 渡辺洋——④  
 渡辺幸子——21  
 渡辺位——36  
 渡邊良子——⑨ 別  
 渡部稲造——34

# 『ひと』の案内

●『ひと』は、読者が参加してつくる雑誌です。一人で悩むよりも、仲間になれば目のまえがパッとひらけます。

この混沌とした時代に、自分の生き方を、自分の授業を、自分の子育てを発見しようとしている人びとのために……。先生がたは教育のたのしさを発見し、父母はいまの教育への悩みを解決し、子どもたちは自信をとるもどすために、点数

で人間を序列づける教育の流れを変え、学びあい、教えあうほんとうの教育のあり方を追求しつづけます。そこから、新しいひととひととの結びつきがはじまるにちがひありません。

## ◎ [ひと] 六つの特徴

- ①—いまの教育の流れを大きく変えるには、しろうとの新鮮な意見と行動とが必要です。母親が編集に積極的に参加しています。
- ②—いまの教育の直接の被害者である青年や母親の意見や告発をとりあげ、その問題解決のための具体的な手段を求めて、すぐれた実践を紹介します。
- ③—子どもには自分の頭で考える喜びを感じ、自信をふかめ、教師には教える楽しさを追求できる授業記録のせます。
- ④—バラバラの知識を多量につめこむことをやめ、各教科の急所を子ども

中心に総合的に扱います。

- ⑤—教育問題はクレイゴトですまされがちですが、親も教師も学生もホッネをぶつけあって、真実を求めます。
- ⑥—世間のものさしに合わせて生きることをやめ、かけがえのない、この自分の生き方を求めて、ひとりひとりが自分のものさしを発見するために……。

## ◎ [ひと]に寄せられた反響

▶いつも興味深く読んでるのは、「新しい授業への招待」です。できない子が増加しているいまの授業を考えると、こんな授業ができれば、どんなにか勉強が楽しみになるだろう、と思わずにはいられませんでした。

———上条静枝・母親

▶私の実家は4人が教員です。父も教員ですが、子どもの見方・扱い方のちがいで、私たち姉弟とよく論争になります。たいてい数で圧倒し、権威を失った父は不機嫌になり、寝てしまいます。けっして私たちの意見はとりあげませんが、変化は徐々にあらわれているのです。ある日、父が[ひと]をひそかに読んでいたのです。

———石川規子・教師

▶偶然に見つけた[ひと]。大学の講義に比べ、[ひと]は、私のなかの疑問や不安に、解決の糸口を示してくれるような気がします。

———酒井美智子・大学生

## 『ひと』および小社の単行本ご購入のご案内

### ▶お近くの書店にご注文ください

『ひと』と小社の単行本は、全国どここの書店からでもとりよせてくれます。店頭で「太郎次郎社の〇〇。とご注文ください。また、そのさい、『ひと』の定期購読を申しこめば、毎月、書店に『ひと』が届きますので、確実

に手に入ります。

### ▶小社からも、直接、お送りできます

振替(振替口座=東京5-138745)か現金書留でご注文ください。送金がありしだい、お送りします。単行本は送料(=実費)を申しあげます。

### ▶『ひと』の直接購読は送料サービスです

『ひと』を毎月、送料サービスで直接、お手元までお届けします。ご購入希望の期間(〇号~〇号)をご記入の上、お申しこみください。

6か月=2700円 12か月=5400円

# 参考文献

＝太郎次郎社の単行本＝

●——『現代教育実践文庫』の  
テーマをさらに深く  
追求するために！

ここにご紹介した単行本は、この11年  
間に、『ひと』誌と並行して出版してきた  
ものです。『ひと』誌（『現代教育実践文  
庫』）と同様、どの本も、テーマをよりし  
ばり、子どもの関心になって教育をとらえ  
たものです。教育の実態や、これからの  
教育の方向をさし示すものです。

この文庫のテーマをさらに発展させる  
ために、また、興味をもたれた著者の主  
張や実践をまとめて読みたい方は、こ  
の文庫とあわせて、ぜひ、ご購入くださ  
い。

※これらの単行本は、〔現代教育実践文  
庫〕には収録されていません。

## 遠山啓の本

### 競争原理を超えて

●ひとりひとりを生かす教育 1200円

### 水源をめざして

●自伝的エッセー 1200円

### かけがえのない、この自分

●教育問答 870円

### いかに生き、いかに学ぶか

●若者と語る 870円

### 教育の蘇生を求めて

●遠山啓との対話 1300円

### 古典との再会

●文学・学問・科学 1400円

### コペルニクスからニュートンへ

●イラストでつづる数学史 近刊

### 遠山啓著作集（全29巻）

●教育論＝全5巻 ●数学論＝全8巻  
●数学教育論＝全14巻 ●別巻＝全2巻  
セット価 75,400円 各2600円

## 斎藤茂男の本

### 教育ってなんだ（上・下）

●①光のなかの闇  
●②闇のなかの光 各1100円

### 父よ母よ（上・下）

●①愛の飢餓のなかで  
●②幸福の闇のなかで 各1100円

### 事実が「私」を鍛える

●いまジャーナリストであること 1300円

### 死角からの報告

●子どもが「人間」を殺した 1300円

## 授業をつくる

### いま授業を変えなければ子どもは

救われない 林竹二・遠藤豊共著 1500円

### 科学の学び方・教え方

●科学新入門 板倉聖宣著 1200円

### 漢字の教え方

●量と水道方式の発想 岡田進著 2000円

### 美術の授業を創る

●絵をかく 久保島信保著 2300円

### いのちと性を学びあう

根岸悦子編著 1400円

授業がすべて 遠藤豊編著 1400円

### 数はその風によって（1～3巻）

江藤邦彦著 近刊

### ひらがなあそび（全3巻）

●楽しく学ぶ 伊東信夫著 各700円

## 教育問題を考える

### 新・身分社会

●学校がつれてきた未来 佐田智子著 1400円

### 教師たちの犯罪

●いのちが壊されていく 大島幸夫著 1400円

### 学校ファシズムを蹴っ飛ばせ

森毅著 1100円

### 教育舞芸帳

●学校を笑え 森毅著 1100円

無着成恭の詩の授業 無着成恭著 1500円

### 人それぞれに花あり（対談集）

無着成恭 VS 12人 1500円

### 人間がすべて

●教育改革 林竹二ほか10人著 1400円

### 女先生のシンフォニー

●いのちを生み育てる 奥地圭子著 1500円

### お母さんの教育運動

●私憤から公憤へ 遠藤豊吉編 1400円

### しのぶちゃん日記

●全盲児の記録 平林浩著 1400円

### 学校が生きかえるとき（上・下）

●明星学園の記録 遠藤豊編著 各1600円

### 子どもに向かって歩く

●優等生教師からの脱皮 山本正次著 1300円

### われら生涯、ヒラ教員

西沢紀生編著 1300円

われら、ガリ版先生 伊東敏編著 1400円

### 登校拒否・学校にいかないで生きる

渡辺位編著 1300円

### イスと麦わら帽子（画集）

堀沢敏雄編著 2900円

### ヒトが人間になる（写真集）

●さくらさくらんぼ保育園の記録

川島浩＝写真・斎藤公子＝文 3200円

現代教育実践文庫

全38巻+別巻2

活用のでびき(総索引)

太郎次郎社

文京区本郷5-33-6  
電話03-815-0605

非  
売  
品